

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

THIS PAGE BLANK (USPTO)

国際調査報告

(法8条、法施行規則第40、41条)
[PCT18条、PCT規則43、44]

出願人又は代理人 の書類記号 BC-0005	今後の手続きについては、国際調査報告の送付通知様式(PCT/ISA/220) 及び下記5を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP00/06072	国際出願日 (日.月.年) 06.09.00	優先日 (日.月.年) 12.11.99
出願人(氏名又は名称) 株式会社ビートゥーシー・インタフェイス		

国際調査機関が作成したこの国際調査報告を法施行規則第41条(PCT18条)の規定に従い出願人に送付する。
この写しは国際事務局にも送付される。

この国際調査報告は、全部で 3 ページである。

☐ この調査報告に引用された先行技術文献の写しも添付されている。

1. 国際調査報告の基礎

a. 言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願がされたものに基づき国際調査を行った。

☐ この国際調査機関に提出された国際出願の翻訳文に基づき国際調査を行った。

b. この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでおり、次の配列表に基づき国際調査を行った。

☐ この国際出願に含まれる書面による配列表

☐ この国際出願と共に提出されたフレキシブルディスクによる配列表

☐ 出願後に、この国際調査機関に提出された書面による配列表

☐ 出願後に、この国際調査機関に提出されたフレキシブルディスクによる配列表

☐ 出願後に提出した書面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。

☐ 書面による配列表に記載した配列とフレキシブルディスクによる配列表に記録した配列が同一である旨の陳述書の提出があった。

2. ☐ 請求の範囲の一部の調査ができない(第I欄参照)。

3. ☐ 発明の単一性が欠如している(第II欄参照)。

4. 発明の名称は ☒ 出願人が提出したものを承認する。

☐ 次に示すように国際調査機関が作成した。

5. 要約は

☒ 出願人が提出したものを承認する。

☐ 第III欄に示されているように、法施行規則第47条(PCT規則38.2(b))の規定により国際調査機関が作成した。出願人は、この国際調査報告の発送の日から1カ月以内に国際調査機関に意見を提出することができる。

6. 要約書とともに公表される図は、

第 1 図とする。 ☒ 出願人が示したとおりである。

☐ なし

☐ 出願人は図を示さなかった。

☐ 本図は発明の特徴を一層よく表している。

THIS PAGE BLANK (USPTO)

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁷ G06F17/60

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁷ G06F17/60, 19/00

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1926-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2001年
日本国実用新案登録公報	1996-2001年
日本国登録実用新案公報	1994-2001年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

JICSTファイル (JOIS), INSPEC (DIALOG)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	EP, 766431, A2 (FUJITSU LIMITED), 2. 4月. 1997 (02. 04. 97) & JP, 9-91358, A	1-89
Y	JP, 3063263, U (株式会社ガリレオゼスト), 11. 8月. 1999 (11. 08. 99) (ファミリーなし)	1-89
Y	JP, 8-263410, A (富士通株式会社), 11. 10月. 1996 (11. 10. 96), 第0017欄 (ファミリーなし)	1-89

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献
「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

23. 01. 01

国際調査報告の発送日

13.02.01

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

吉田耕一

5L

9194

電話番号 03-3581-1101 内線 3560



THIS PAGE BLANK (USPTO)

C (続き) . 関連すると認められる文献		関連する 請求の範囲の番号
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	
Y	JP, 9-114893, A (株式会社タイム), 2. 5月. 1997 (02. 05. 97) (ファミリーなし)	7-12, 14-18, 21-22, 24, 27- 29, 31, 35, 36, 39, 40, 45-51, 55, 56, 59, 60, 62, 63, 65-67, 69, 71
A	日経PC Vol.3, No.7, 日経BP社, 1. 6月. 1998 (01. 06. 98) pp.176-179	7-12, 14-18, 21-22, 24, 27- 29, 31, 35, 36, 39, 40, 45-51, 55, 56, 59, 60, 62, 63, 65-67, 69, 71
A	JP, 11-66161, A (株式会社リクルート), 9. 3月. 1999 (09. 03. 99) (ファミリーなし)	7-12, 14-18, 21-22, 24, 27- 29, 31, 35, 36, 39, 40, 45-51, 55, 56, 59, 60, 62, 63, 65-67, 69, 71

THIS PAGE BLANK (USPTO)

Request form (4 pages)

1/4

特許協力条約に基づく国際出願願書

BC-0005

原本 (出願用) - 印刷日時 2000年08月31日 (31.08.2000) 木曜日 19時45分34秒

0	受理官庁記入欄	
0-1	国際出願番号	
0-2	国際出願日	
0-3	(受付印)	
0-4	様式-PCT/RO/101 この特許協力条約に基づく国際出願願書は、 右記によって作成された。	PCT-EASY Version 2.91 (updated 01.07.2000)
0-5	甲立て 出願人は、この国際出願が特許協力条約に従って処理されることを請求する。	
0-6	出願人によって指定された受理官庁	日本国特許庁 (RO/JP)
0-7	出願人又は代理人の書類記号	BC-0005
I	発明の名称	スケジュール通信方法、装置およびシステム
II	出願人	出願人である (applicant only)
II-1	この欄に記載した者は	米国を除くすべての指定国 (all designated States except US)
II-2	右の指定国についての出願人である。	株式会社ビー・トウ・シー・インタフェイス
II-4-ja	名称	B TO C INTERFACE INC.
II-4-en	Name	106-0045 日本国
II-5-ja	あて名:	東京都 港区麻布十番
II-5-en	Address:	1-7-3 森下 Morishita 職権と削除 1/9 1-7-3, Azabu-Juban Minato-ku, Tokyo 106-0045 Japan
II-6	国籍 (国名)	日本国 JP
II-7	住所 (国名)	日本国 JP
II-8	電話番号	03-3423-7766
II-9	ファクシミリ番号	03-3423-2257

THIS PAGE BLANK (USPTO)

2/4

特許協力条約に基づく国際出願願書

BC-0005

原本(出願用) - 印刷日時 2000年08月31日 (31.08.2000) 木曜日 19時45分34秒

III-1 III-1-1	その他の出願人又は発明者 この欄に記載した者は	出願人及び発明者である (applicant and inventor)
III-1-2	右の指定国についての出願人である。	米国のみ (US only)
III-1-4ja III-1-4en III-1-5ja	氏名(姓名) Name (LAST, First) あて名:	山下 哲矢 YAMASHITA, Tetsuya 106-0045 日本国 東京都 港区麻布十番 1-7-3
III-1-6en	Address:	山下 Yamashita 1-7-3, Azabu-Juban Minato-ku, Tokyo 106-0045 Japan
III-1-6 III-1-7	国籍(国名) 住所(国名)	日本国 JP 日本国 JP
IV-1 IV-1-1ja IV-1-1en IV-1-2ja	代理人又は共通の代表者、通知のあて名 下記の者は国際機関において右記のごとく出願人のために行動する。 氏名(姓名) Name (LAST, First) あて名:	代理人 (agent) 森下 賢樹 MORISHITA, Sakaki 180-0004 日本国 東京都 武蔵野市吉祥寺本町 1-18-3-407
IV-1-2en	Address:	森下 Morishita 1-18-3-407, Kichijoji-Honcho Musashino, Tokyo 180-0004 Japan
IV-1-3 IV-1-4	電話番号 ファクシミリ番号	0422-23-7415 0422-23-7416
V V-1	国の指定 広域特許 (他の種類の保護又は取扱いを求める場合には括弧内に記載する。)	AP: GH GM KE LS MW MZ SD SL SZ TZ UG ZW 及びハラレブプロトコルと特許協力条約の締約国である他の国 EA: AM AZ BY KG KZ MD RU TJ TM 及びユーラシア特許条約と特許協力条約の締約国である他の国 EP: AT BE CH&LI CY DE DK ES FI FR GB GR IE IT LU MC NL PT SE 及びヨーロッパ特許条約と特許協力条約の締約国である他の国 OA: BF BJ CF CG CI CM GA GN GW ML MR NE SN TD TG 及びアフリカ知的所有権機構と特許協力条約の締約国である他の国

THIS PAGE BLANK (USPTO)

3/4

特許協力条約に基づく国際出願願書

BC-0005

原本 (出願用) - 印刷日時 2000年08月31日 (31.08.2000) 木曜日 19時45分34秒

V-1	国内特許 (他の種類の保護又は取扱いを 求める場合には括弧内に記載す る。)	AE AG AL AM AT AU AZ BA BB BG BR BY BZ CA CH&LI CN CR CU CZ DE DK DM DZ EE ES FI GB GD GE GH GM HR HU ID IL IN IS KE KG KP KR KZ LC LK LR LS LT LU LV MA MD MG MK MN MW MX NZ NO NZ PL PT RO RU SD SE SG SI SK SL TJ TM TR TT TZ UA UG US UZ VN YU ZA ZW
V-5	指定の確認の宣言 出願人は、上記の指定に加えて 、規則4.9(b)の規定に基づき、 特許協力条約のもとで認められ る他の全ての国の指定を行う。 ただし、V-6欄に示した国の指 定を除く。出願人は、これらの 追加される指定が確認を条件と していること、並びに優先日か ら15月が経過する前にその確認 がなされない指定は、この期間 の経過時に、出願人によって取 り下げられたものとみなされる ことを宣言する。	
V-8	指定の確認から除かれる国	なし (NONE)
VI-1	先の国内出願に基づく優先権 主張	
VI-1-1	先の出願日	1999年11月12日 (12.11.1999)
VI-1-2	先の出願番号	平成11年特許願第323395号
VI-1-3	国名	日本国 JP
VI-2	先の国内出願に基づく優先権 主張	
VI-2-1	先の出願日	2000年04月27日 (27.04.2000)
VI-2-2	先の出願番号	特願2000-126884
VI-2-3	国名	日本国 JP
VI-3	優先権証明書送付の請求 上記の先の出願のうち、右記の 番号のものについては、出願番 種類の認証謄本を作成し国際事務 局へ送付することを、受理官庁 に対して請求している。	VI-1, VI-2 提出 1年4ヶ月以内 ↑ 請求
VII-1	特定された国際調査機関 (ISA)	日本国特許庁 (ISA/JP)
VIII	照合欄	用紙の枚数
VIII-1	願書	4
VIII-2	明細書	35
VIII-3	請求の範囲	16
VIII-4	要約	1
VIII-5	図面	23
VIII-7	合計	79
VIII-8	添付書類	添付
VIII-10	手数料計算用紙	✓
VIII-10	PCT-EASYディスク	-
VIII-10	要約書とともに提示する図の 番号	1
VIII-19	国際出願の使用言語名:	日本語 (Japanese)

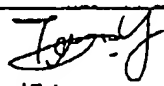
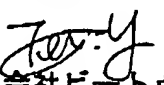
THIS PAGE BLANK (USPTO)

4/4

特許協力条約に基づく国際出願願書

BC-0005

原本（出願用） - 印刷日時 2000年08月31日 (31.08.2000) 木曜日 19時45分34秒

IX-1	提出者の記名押印	
IX-1-1	氏名(姓名)	山下 哲矢
IX-2	提出者の記名押印	
IX-2-1	名称	株式会社ビートゥーシー・インタフェイス
IX-2-2	署名者の氏名	山下 哲矢
IX-2-3	権限	代表取締役社長

受理官庁記入欄

10-1	国際出願として提出された書類の実際の受理の日	
10-2	図面:	
10-2-1	受理された	
10-2-2	不足図面がある	
10-3	国際出願として提出された書類を補完する書類又は図面であってその後期間内に提出されたものの実際の受理の日(訂正日)	
10-4	特許協力条約第11条(2)に基づく必要な補完の期間内の受理の日	
10-5	出願人により特定された国際調査機関	ISA/JP
10-6	調査手数料未払いにつき、国際調査機関に調査用写しを送付していない	

国際事務局記入欄

11-1	記録原本の受理の日	
------	-----------	--

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局



(43) 国際公開日
2001年5月25日 (25.05.2001)

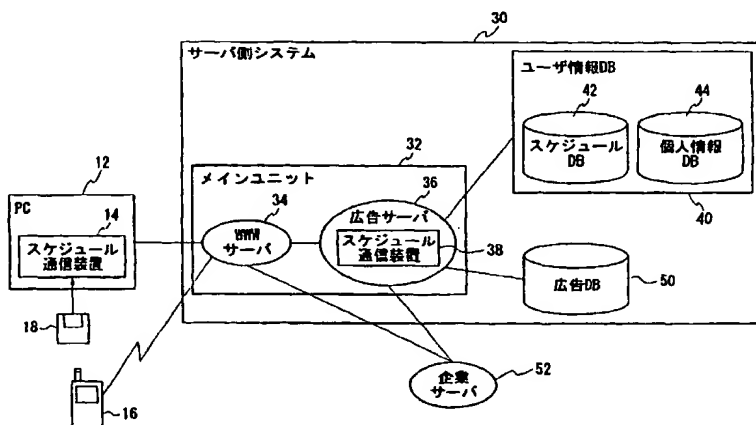
PCT

(10) 国際公開番号
WO 01/37155 A1

- (51) 国際特許分類⁷: G06F 17/60 (74) 代理人: 森下賢樹(MORISHITA, Sakaki); 〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-18-3-407 Tokyo (JP).
- (21) 国際出願番号: PCT/JP00/06072
- (22) 国際出願日: 2000年9月6日 (06.09.2000)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願平 11/323395
1999年11月12日 (12.11.1999) JP
特願平 2000-126884
2000年4月27日 (27.04.2000) JP
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 株式会社 ビートゥーシー・インタフェイス (B TO C INTERFACE INC.) [JP/JP]; 〒106-0045 東京都港区麻布十番1-7-3 Tokyo (JP).
- (72) 発明者; および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 山下哲矢 (YAMASHITA, Tetsuya) [JP/JP]; 〒106-0045 東京都港区麻布十番1-7-3 Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (国内): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BY, BZ, CA, CH, CN, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EE, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NO, NZ, PL, PT, RO, RU, SD, SE, SG, SI, SK, SL, TJ, TM, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VN, YU, ZA, ZW.
- (84) 指定国 (広域): ARIPO 特許 (GH, GM, KE, LS, MW, MZ, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZW), ユーラシア特許 (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ特許 (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE), OAPI 特許 (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).
- 添付公開書類:
— 国際調査報告書
- 2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

(54) Title: SCHEDULE COMMUNICATION METHOD, APPARATUS, AND SYSTEM

(54) 発明の名称: スケジュール通信方法、装置およびシステム



14...SCHEDULE COMMUNICATION APPARATUS
30...SERVER SYSTEM
32...MAIN UNIT
34...WWW SERVER
36...ADVERTISEMENT SERVER
38...SCHEDULE COMMUNICATION APPARATUS

40...USER INFORMATION DB
42...SCHEDULE DB
44...PERSONAL INFORMATION DB
50...ADVERTISEMENT DB
52...COMPANY SERVER

(57) Abstract: A schedule communication system has a schedule communication apparatus of a client and a schedule communication apparatus of a server. The schedule communication apparatus of the server transmits a schedule and an advertisement satisfying the user's taste to the user. The schedule communication apparatus of the client receives the schedule and advertisement. The advertisement is incorporated in the schedule and presented to the user around the objective time.



(57) 要約:

スケジュール通信システムはクライアント側のスケジュール通信装置とサーバ側のスケジュール通信装置を有する。サーバ側のスケジュール通信装置は、ユーザにスケジュールと、ユーザの嗜好に沿う広告を送信する。クライアント側のスケジュール通信装置は、スケジュールと広告を受信する。広告はその目的時刻を軸にスケジュールの中に組み込まれた状態でユーザに告知される。

明細書

スケジュール通信方法、装置およびシステム

5 技術分野

この発明は、ユーザのスケジュールを通信する技術に関する。この発明はとくに、ユーザのスケジュールを送受信する方法、装置、システムに関する。

発明の背景

- 10 フォローマーケティングを前提としたインターネットのコミュニケーションでは、ほとんどの場合情報発信者、すなわち企業側がイニシアティブをとっている。そのため発信者には、常に自己のウェブコンテンツの魅力を高め、ユーザの継続的なアクセスを獲得する努力が求められる。こうしたビジネスでは、ユーザの要望を的確に把握し、ユーザの声を反映すべく、電子メールなどによる最新の情報の配信等をととしたユーザとの直接かつ密接な関係構築が重要な鍵である。

- 15 しかしながら、いかにユーザの多様な声を反映させたとしても、結局は最大公約数的な情報を発信するしかできない場合が多い。逆に、少数派を満足させるために些細な情報まで掲示または配信するとすれば、情報過多となって結局はユーザが敬遠する。インターネットを利用するユーザ端末に対するバナー広告も非常に盛んであるが、不特定多数にランダムな広告を打ってもその効果のほどは疑わしい。

開示の要旨

- 25 本発明はそうした課題に鑑みてなされたものであり、その目的は、個々のユーザが望む情報を的確に把握および提供可能なネットワークによるサービス提供技術を提供することにある。

本発明の別の目的は、ユーザのスケジュールをネットワークで配信するとき、各種付加情報を与えることでユーザの多様な要望に応える技術を提供することにある。

本発明のさらに別の目的は、企業がネットワークを介して広告を配信する際、効果的な技術を提供することにある。

本発明のさらに別の目的は、企業がネットワークを介して求人情報または求人広告を出す際、効果的な技術を提供することにある。

- 5 以上の課題を解決するために、本発明はネットワークを介したユーザのスケジュール通信技術を基調に構築される。ここで「ネットワーク」は有線、無線を問わず、なんらかのデータのやりとりが可能な伝送手段を含む。「スケジュール」とは、ユーザの個人的な予定など時間軸をベースに組み立てられる個別情報全般をいう。後述の「広告」とは通常宣伝と理解される営業的なものの他、企業や個人が他人に対してアピールするための情報全般を指す。「求人情報」とは通常求人広告として理解される情報の他、有償と無償とを問わず、広く労働力の提供を求めるための情報をいう。
- 10

- 本発明のある態様は、ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信方法である。この方法はとくにユーザ側、またはクライアント側に適している。この方法は、前記ネットワークを介してユーザの前記スケジュールを受信するステップと、前記ネットワークを介して前記ユーザの嗜好に沿うものとして選択された広告を受信するステップと、前記広告の目的時刻を判定するステップと、前記スケジュールの中に前記目的時刻に沿って前記広告を組み込んで前記ユーザに告知するステップとを含む。また、前記ネットワークを介して求人情報を受信するステップをさらに含んでもよい。「組み込んで」とは、例えばスケジュールの日時欄の中へ一体的に書き込んで、の意味である。この方法によれば、ユーザが受信したスケジュールの中に広告を組み込んでユーザに知らせることができる。
- 15
- 20

- 本発明の別の態様もスケジュールの通信方法であり、この方法もユーザ側に適している。この方法は、前記ネットワークを介してユーザの前記スケジュールを受信するステップと、前記ネットワークを介して求人情報を受信するステップと、前記求人情報の目的時刻を判定するステップと、前記スケジュールと前記求人情報を前記目的時刻によって関連づけて前記ユーザに告知するステップとを含む。この方法によれば、例えばスケジュールの中に求人情報を組み込んでユーザに知らせることができる。
- 25

本発明のさらに別の態様もスケジュール通信方法であり、この方法はとくにホスト側またはサーバー側に適している。この方法は、ネットワークを介してユーザに前記スケジュールを送信するステップと、前記ユーザの嗜好に沿う広告を選択するステップと、前記選択された広告に、当該広告を前記スケジュールの中に組み込むための目的時刻を付加して前記ユーザに送信するステップとを含む。このため、前記ユーザは、広告がスケジュールに組み込まれた状態でそれを認識することができきる。この方法は、前記ネットワークを介して求人情報を送信するステップをさらに含んでもよい。

- 本発明のさらに別の態様もサーバ側に適したスケジュールの通信方法である。
- 10 この方法は、前記ネットワークを介してユーザに前記スケジュールを送信するステップと、前記ユーザに送信すべき求人情報を選択するステップと、前記選択された求人情報に、当該求人情報と前記スケジュールとを関連づけるための目的時刻を付加して前記ユーザに送信するステップとを含む。この方法によれば、例えばユーザがそのスケジュールに求人情報を組み入れた状態でスケジュールを確認
- 15 することができる。

- 本発明のさらに別の態様は、サーバクライアントシステムにおけるスケジュールの通信方法である。この方法は、前記サーバが前記ユーザにスケジュールを送信するステップと、前記ユーザ側にて前記スケジュールを受信するステップと、前記サーバが前記ユーザの嗜好に沿う広告を選択するステップと、前記サーバが
- 20 前記選択した広告を前記ユーザに送信するステップと、前記ユーザ側にて前記広告の目的時刻を判定するステップと、前記ユーザ側にて前記スケジュールの中に前記目的時刻に沿って前記広告を組み込んで前記ユーザに告知するステップとを含む。

- 本発明のさらに別の態様も、サーバクライアントシステムにおけるスケジュール通信方法であり、前記サーバが前記ユーザにスケジュールを送信するステップと、前記ユーザ側にて前記スケジュールを受信するステップと、前記サーバが前記ユーザに送信すべき求人情報を選択するステップと、前記サーバが前記選択した求人情報を前記ユーザに送信するステップと、前記ユーザ側にて前記求人情報を受信するステップと、前記ユーザ側にて前記求人情報の目的時刻を判定するス
- 25

テップと、前記ユーザ側にて前記スケジュールと前記求人情報を前記目的時刻によって関連づけて前記ユーザに告知するステップとを含む。

5 なお、以上の処理を実行するプログラムを格納したコンピュータで読み取り可能な記録媒体を提供してもよい。そのプログラムはコンピュータによって実行される。

10 本発明のさらに別の態様は、ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信装置である。この装置はユーザ側に適しており、前記ネットワークを介してユーザの前記スケジュールを取得するユニットと、前記ネットワークを介して前記ユーザの嗜好に沿うものとして選択された広告を取得するユニットと、前記広告の目的時刻を判定するユニットと、前記スケジュールの中に前記目的時刻に沿って前記広告を組み込んで前記ユーザに告知するための告知制御ユニットとを含む。この装置によれば、ユーザはスケジュールに広告が組み込まれた状態で確認することができる。

15 本発明のさらに別の態様もスケジュールの通信装置であり、この装置もユーザ側に適している。この装置は、前記ネットワークを介してユーザの前記スケジュールを取得するユニットと、前記ネットワークを介して求人情報を取得するユニットと、前記求人情報の目的時刻を判定するユニットと、前記スケジュールと前記求人情報を前記目的時刻によって関連づけて前記ユーザに告知するための告知制御ユニットとを含む。この装置によれば、ユーザはスケジュールに求人情報が
20 組み込まれた状態で確認することができる。

本発明のさらに別の態様もユーザ側に適したスケジュールの通信装置である。この装置は、前記ネットワークを介してユーザに送信すべき前記スケジュールを読み出すスケジュール管理ユニットと、前記ユーザの嗜好に沿う広告を選択する探索ユニットと、前記選択された広告に、当該広告を前記スケジュールの中に組み込むための目的時刻を付加して前記ユーザに送信するためのデータを生成する
25 ユニットとを含む。

本発明のさらに別の態様はサーバー側に適したスケジュールの通信装置である。この装置は、前記ネットワークを介してユーザに送信すべき前記スケジュールを読み出すスケジュール管理ユニットと、前記ユーザに送信すべき求人情報を選択

する探索ユニットと、前記選択された求人情報に、当該求人情報と前記スケジュールとを関連づけるための目的時刻を付加して前記ユーザに送信するためのデータを生成するユニットとを含む。

本発明のさらに別の態様は、サーバ側システムとユーザ側であるクライアントを含むネットワークシステムにおけるスケジュールの通信システムである。このサーバ側システムは、前記ユーザに前記スケジュールを送信するユニットと、前記ユーザの嗜好に沿う広告を選択するユニットと、前記選択した広告を前記ユーザに送信するユニットとを含む。一方、前記クライアントは、前記スケジュールを受信するユニットと、前記広告を受信するユニットと、前記広告の目的時刻を判定するユニットと、前記スケジュールの中に前記目的時刻に沿って前記広告を組み込んで前記ユーザに告知するための告知制御ユニットとを含む。また、前記サーバ側システムは、前記クライアントとの通信をインターネットにて行うフロントサーバであるWWWサーバーと、前記クライアントとの通信の内容に応じて前記スケジュールおよび前記広告を抽出して前記WWWサーバーに引き渡す広告サーバーとを含んでもよい。この構成によれば、クライアント側、すなわちユーザ側にてそのスケジュールに広告を組み込んだ状態でスケジュールの確認ができる。

本発明のさらに別の態様は、同じくスケジュールの通信システムである。このシステムにおいてサーバ側システムは、前記ユーザに前記スケジュールを送信するユニットと、前記ユーザに送信すべき求人情報を選択するユニットと、前記選択した求人情報を前記ユーザに送信するユニットとを含む。一方、前記クライアントは、前記スケジュールを受信するユニットと、前記求人情報を受信するユニットと、前記求人情報の目的時刻を判定するユニットと、前記スケジュールと前記求人情報を前記目的時刻によって関連づけて前記ユーザに告知するための告知制御ユニットとを含む。この構成によれば、クライアント側、すなわちユーザ側にてそのスケジュールと求人情報を関連づけた状態でスケジュールの確認ができる。

本発明のさらに別の態様は、スケジュールの通信方法である。この方法は、ネットワークを介してユーザの前記スケジュールを受信するステップと、前記ネッ

トワークを介して、セグメント化された情報のタイトルを受信するステップと、前記タイトルの目的時刻を判定するステップと、前記スケジュールの中に前記目的時刻に沿って前記タイトルを組み込んで前記ユーザに告知するステップとを含む。この構成によれば、ある程度量がある情報をタイトルという簡便なシンボルによってユーザへ告知することができる。なお、この方法を装置の形で実現したものも本発明として有用である。

前記タイトルには前記セグメント化された情報のアイテムへの電子的なリンクが張られており、前記ユーザがそのタイトルをクリックしたとき前記情報のアイテムがオンラインで前記ユーザへ提示されもよい。また、その電子的なリンクの先には、前記情報のアイテムを集約してユーザへ提供する集約ポイント、例えばサイトやページが形成されていてもよい。

本発明のさらに別の態様もスケジュールの通信方法である。この方法は、ネットワークを介してユーザに前記スケジュールを送信するステップと、セグメント化された情報のタイトルを選択するステップと、前記選択されたタイトルに、当該タイトルを前記スケジュールの中に組み込むための目的時刻を付加して前記ユーザに送信するステップとを含む。この方法を装置の形で実現したものも本発明として有用である。

本発明のさらに別の態様もスケジュールの通信方法である。この方法は、サーバが前記ユーザにスケジュールを送信するステップと、ユーザ側にて前記スケジュールを受信するステップと、前記サーバがセグメント化された情報のタイトルを選択するステップと、前記サーバが前記選択したタイトルを前記ユーザに送信するステップと、前記ユーザ側にて前記タイトルの目的時刻を判定するステップと、前記ユーザ側にて前記スケジュールの中に前記目的時刻に沿って前記タイトルを組み込んで前記ユーザに告知するステップとを含む。

本発明のさらに別の態様はスケジュールの通信システムである。このシステムは、サーバとユーザ側であるクライアントを含むネットワークシステムを用いる。前記サーバ側システムは、前記ユーザに前記スケジュールを送信するユニットと、前記ユーザに送信すべき、セグメント化された情報のタイトルを選択するユニットと、前記選択したタイトルを前記ユーザに送信するユニットとを含む。前記ク

ライアントは、前記スケジュールを受信するユニットと、前記タイトルを受信するユニットと、前記タイトルの目的時刻を判定するユニットと、前記スケジュールと前記タイトルを前記目的時刻によって関連づけて前記ユーザに告知するための告知制御ユニットとを含む。

- 5 本発明のさらに別の態様は、ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信方法である。この方法はクライアント側に適し、前記ネットワークを介してユーザの前記スケジュールを受信するステップと、前記ネットワークを介して、セグメント化された情報のタイトルを受信するステップと、前記タイトルの目的時刻を判定するステップと、前記スケジュールの中に前記目的時刻に沿って前記タイトルを組み込んで前記ユーザに告知するステップとを含む。

- 10 本発明のさらに別の態様もスケジュールの通信方法である。この方法はサーバ側に適し、前記ネットワークを介してユーザに前記スケジュールを送信するステップと、セグメント化された情報のタイトルを選択するステップと、前記選択されたタイトルに、当該タイトルを前記スケジュールの中に組み込むための目的時刻を付加して前記ユーザに送信するステップとを含む。

- 15 本発明のさらに別の態様は、サーバクライアントシステムによるスケジュール通信方法である。この方法は、前記サーバが前記ユーザにスケジュールを送信するステップと、前記ユーザ側にて前記スケジュールを受信するステップと、前記サーバがセグメント化された情報のタイトルを選択するステップと、前記サーバが前記選択したタイトルを前記ユーザに送信するステップと、前記ユーザ側にて前記タイトルの目的時刻を判定するステップと、前記ユーザ側にて前記スケジュールの中に前記目的時刻に沿って前記タイトルを組み込んで前記ユーザに告知するステップとを含む。

- 20 前記タイトルには前記セグメント化された情報のアイテムへの電子的なリンクが張られており、前記ユーザがそのタイトルをクリックしたとき前記情報のアイテムがオンラインで前記ユーザへ提示されてもよい。

また、前記電子的なリンクの先には、前記情報のアイテムを集約してユーザへ提供する集約ポイントが形成されていてもよい。

なお、以上の構成要素の任意の組合せや、方法、システム、装置、記録媒体の

間で表現を置換したり、表現を組み合わせたものもまた、本発明の態様として有効である。

図面の簡単な説明

- 5 上述した目的、およびその他の目的、特徴および利点は、以下に述べる好適な実施の形態、およびそれに付随する以下の図面によってさらに明らかになる。
- 図 1 は、実施の形態に係るスケジュール通信システムの構成図である。
- 図 2 は、クライアント側のスケジュール通信装置の内部構成図である。
- 10 図 3 は、図 2 のユーザ識別情報入力部の内部構成図である。
- 図 4 は、図 2 のスケジュール取得部で取得されるデータストリームを示す図である。
- 図 5 は、図 2 のスケジュール取得部の内部構成図である。
- 図 6 は、図 2 の目的時刻判定部の内部構成図である。
- 15 図 7 は、目的時刻判定部から出力されたデータフォーマットを示す図である。
- 図 8 は、図 2 の告知制御部の内部構成図である。
- 図 9 は、サーバ側のスケジュール通信装置の内部構成図である。
- 図 10 は、図 9 の個人情報取得部の内部構成図である。
- 図 11 は、図 9 の個人情報管理部の内部構成図である。
- 20 図 12 は、個人情報カードを示す図である。
- 図 13 は、図 9 のスケジュール要求受付部の内部構成図である。
- 図 14 は、図 9 の認証部の内部構成図である。
- 図 15 は、求人情報を示す図である。
- 図 16 は、広告を示す図である。
- 25 図 17 は、図 9 の関連情報指示部の内部構成図である。
- 図 18 は、図 9 の探索部の内部構成図である。
- 図 19 は、図 9 の送信データ生成部で生成された送信データの構成図である。
- 図 20 は、図 9 の課金管理部の内部構成図である。
- 図 21 は、ユーザがスケジュールを確認するための初期画面を示す図である。

図 2 2 は、ユーザが携帯電話を用いてスケジュールを確認するための初期画面を示す図である。

図 2 3 は、ユーザがスケジュールを確認するために表示された画面を示す図である。

5 図 2 4 は、ユーザがスケジュールを確認するために表示された別の画面を示す図である。

図 2 5 は、ユーザがスケジュールを確認するために表示されたさらに別の画面を示す図である。

10 図 2 6 は、ユーザが携帯電話を利用する際に表示されたスケジュールを示す図である。

図 2 7 は、ユーザがスケジュールを確認するための手順を示すフローチャートである。

図 2 8 は、ユーザがスケジュールを確認する際広告を表示する手順を示すフローチャートである。

15 図 2 9 は、ユーザがスケジュールを確認する際広告を表示する手順を示すフローチャートである。

図 3 0 は、広告サーバからユーザへ求人情報を送信する手順を示す図である。

実施の形態の詳細な説明

20 以下の実施の形態は、特許請求の範囲に記載された発明を限定するものではなく、また実施の形態の中で説明されている特徴の組合せのすべてが発明の解決手段に必須であるとは限らない。

図 1 は、実施の形態に係るスケジュール通信システムの構成を示す。このシステムではサーバ側がユーザのスケジュールを管理している。ユーザは自分のスケジュールを知るためにサーバ側にアクセスする。その際、サーバ側はユーザに適した広告または企業の求人情報をスケジュールに組込可能な形で提供する。

25 スケジュール通信システム 1 0 は、サーバ側システム 3 0 とユーザ側クライアントシステムである P C（パーソナルコンピュータ） 1 2、および企業サーバ 5 2 を含む。ただし、クライアントシステムは P C 1 2 である必要はなく、たとえ

ば携帯電話 16 その他任意の情報端末であってよい。

サーバ側システム 30 は主に、ユーザにスケジュールを送信する機能と、ユーザの嗜好に沿う広告を選択する機能と、選択した広告をユーザに送信する機能とを含む。サーバ側システム 30 はさらに、ユーザに送信すべき求人広告を選択する機能と、選択した求人情報をユーザに送信する機能を含む。一方クライアントは、送信されたスケジュールを受信する機能と、送信された広告および求人情報を受信する機能と、それら広告や求人情報の目的時刻を判定する機能と、送信されたスケジュールの中に目的時刻に沿って広告を組み込んでユーザに告知する機能と、同じく送信されたスケジュールと送信された求人情報をその目的時刻によって関連づけてユーザに告知する機能とを含む。ここで目的時刻とは、たとえば広告の対象となるイベントの日時や求人情報に含まれる勤務の日時等、広告や求人情報に何らかの関連を有する時刻をいう。

クライアントである PC 12 は、実施の形態に係るスケジュール通信装置 14 を含む。スケジュール通信装置 14 は主に PC 12 の CPU とメモリにロードされたプログラムによって実現される。ただし、それ以外の任意のハードウェアおよびソフトウェアの組合せによってこの装置を構成することも可能であり、その設計自由度の高さは当業者には容易に理解されるところである。スケジュール通信装置 14 をソフトウェアモジュール群として構成する場合、このプログラムをフロッピーディスク 18 等の記録媒体によって PC 12 へロードすることができる。

サーバ側システム 30 は、メインユニット 32 とユーザ情報データベース 40 と広告データベース 50 をもつ。メインユニット 32 は、クライアントとの通信をインターネットにて行うフロントサーバである WWW サーバ 34 とクライアントとの通信の内容に応じてスケジュール、広告および求人情報をユーザ情報データベース 40 から抽出して WWW サーバ 34 に引き渡す広告サーバ 36 を含む。

広告サーバ 36 は実施の形態に係るサーバ側のスケジュール通信装置 38 を内蔵する。ただしサーバ側のスケジュール通信装置 38 はその一部または全部が WWW サーバ 34 の側に内蔵されてもよく、その設計の自由度も高い。

ユーザ情報データベース 40 はユーザのスケジュールを保持するスケジュール

データベース 42 とユーザの個人情報を保持する個人情報データベース 44 を含む。広告データベース 50 は企業の広告を保持するもので、その広告はたとえば企業サーバ 52 からメインユニット 32 を経由して格納される。ただし、広告の格納はオフライン処理で行われてもよい。企業サーバ 52 は、広告をメインユニット 32 へ送付するサーバ機能の他、クライアントから広告の詳細情報が問い合わせられたときにアクセスされる企業のホームページとしての機能も有する。

以上の構成において、サーバとクライアントの通信の主体はユーザのスケジュールであるが、このシステムではそのスケジュールの時間を軸として広告や求人情報がスケジュールの中に組み込まれる形でユーザに告知される。また、あらかじめ広告とユーザのマッチングおよび求人情報とユーザのマッチングが検証され、最も宣伝効果が高いと予想されるユーザに広告が送られ、かつ企業が最も採用したいと思われるユーザに効果的に求人広告が流される。またユーザにしても、自分が一番興味を持ちそうな広告が自然に流され、自分が働いてみたい条件の求人情報を効率的に得ることができる。

図 2 は、クライアント側のスケジュール通信装置 14 の構成を示す。ユーザ識別情報入力部 100 は、スケジュールにアクセスする際のユーザの確認をするための情報を入力する。スケジュール登録部 102 は、ユーザが自らスケジュールを登録または更新する際に用いる。スケジュール取得部 104 は、ユーザが自らスケジュールを確認する際に利用する。スケジュール取得部 104 によって取得されたスケジュールは、目的時刻判定部 110 へ送られる。

目的時刻判定部 110 は、取得されたスケジュールの目的時刻を判定する。たとえばスケジュールが、「1 月 1 日から一週間旅行に出る」であれば、目的時刻は「1 月 1 日」または「1 月 1 日から一週間」のように判定される。スケジュールおよびその目的時刻は告知制御部 120 へ送られる。

告知制御部 120 は、スケジュールの内容とその目的時刻をユーザに告知するための各種制御を行う。たとえばユーザのスケジュールが、10 月 10 日にコンサートに行くことであれば、告知制御部はまずディスプレイに 10 月 10 日前後のカレンダーを表示させ、かつ 10 月 10 日の日付部分に「コンサート」と表示させる。

広告取得部 106 は、サーバ側システム 30 から送られてくる企業の広告を取得する。求人情報取得部 108 は、同様に求人情報を取得する。求人情報はあらかじめ選抜されたユーザのみが受信可能としても良い。広告および求人情報はともに目的時刻判定部 110 へ送られ、これらの目的時刻が判定される。判定の結果は告知制御部 120 へ送られる。告知制御部 120 では、たとえば広告の内容が「××デパート、11月10日、全品20%オフ」であれば、11月10日前後のカレンダーを表示させ、かつその11月10日の日付部分に例えば「××デパート、20%オフ」と表示させる。同様に、求人情報が「12月10日工事現場アルバイト」であれば、告知制御部 120 はまず12月10日前後のカレンダーを表示させ、かつ12月10日の日付部分に「工事現場アルバイト募集中」などと表示させる。

関連情報アクセス部 160 は、表示された広告や求人情報に興味を持つユーザがその詳細情報を知りたいときに利用する。たとえば、告知制御部 120 によって表示された広告や求人情報の下線付き情報をクリックすると、関連情報アクセス部 160 はこのアクションを検出し、詳細情報へアクセスする。

タイマー 150 は、スケジュール、広告、求人情報の取得を所定の時刻や一定間隔で行うために利用される。たとえば、スケジュール通信装置 14 は通常オフラインで利用され、5分おきにダイヤルアップして広告を取得するといった制御が可能である。タイマー 150 は、ソフトウェアによるポーリングやリアルタイムクロック IC によって構成できる。リアルタイムクロック IC が利用される場合、その出力を告知制御部 120 におけるカレンダー表示に利用することができる。

求人応答部 114 は、ユーザが求人に応募するときに利用する。実際には、求人情報が表示されたときに「応募する」というボタンも併せて表示し、ユーザがそのボタンをクリックしたとき求人応答部 114 がその旨をサーバ側システム 30 へ伝える。

個人情報入力部 116 は、ユーザの住所氏名をはじめとする個人情報を入力する。

通信 I/F 部 112 は、通信部 162 とスケジュール通信装置 14 のインタフ

エイスである。通信部 162 は、たとえば PC 14 があらかじめ備えるモデムや LAN 回路や光通信回路等任意の通信機能ブロックである。通信 I/F 部 112 は、通信部 162 がネットワークとの間のデータ授受が可能なようスケジュール通信装置 14 のデータを変換する。ただし、通信部 162 が通信 I/F 部 112 の機能を備えている場合もあり、その場合スケジュール通信装置 14 は通信 I/F 部 112 を持つ必要はない。

図 3 はユーザ識別情報入力部 100 の構成を示す。PID 入力部 100a は、ユーザを個人として認証するための ID を入力する。PPW 入力部 100b はユーザを個人として認証するためのパスワードを入力する。GID 入力部 100c はユーザをグループとして認証するための ID を入力する。GPW 入力部 100d はユーザをグループとして認証するためのパスワードを入力する。

この実施の形態は、ユーザを個人として認証できるだけでなく、そのユーザが属するグループの一員として認証する機能を持つ。たとえば、友人同士でスケジュールを互いに見せることを認める場合、この友人のグループが共通のグループ ID およびグループパスワードを取得することにより、スケジュールの共有が可能となる。

ユーザ識別情報入力部 100 はさらに、マシン ID 取得部 100e を備える。マシン ID 取得部 100e は、たとえば PC 12 の CPU のシリアル番号等マシンに固有の ID を取得する。マシン ID を利用する場合、たとえばユーザは個人の ID を入力しなくてもよい。マシン ID と通常の個人の ID やパスワード等の組合せによるユーザの利便性の向上、またはセキュリティーの向上についてはいろいろな変形技術が考えられる。

図 4 は、サーバ側システム 30 から送られてくるデータストリーム 400 の構成を示す。データストリーム 400 は、ヘッダ 402 と、ユーザのスケジュール 404 と、そのユーザの嗜好に合うとして選択された広告 406 と、同じくそのユーザの嗜好やスキルに合うとして選択された求人情報 408 を含む。ただし、スケジュール 404、広告 406、求人情報 408 はこれらのうち任意のひとつ以上の情報が送られてくるものでもよい。

図 5 は、スケジュール取得部 104 の内部構成を示す。定間隔アクセス部 10

4 a は、既述のタイマー 1 5 0 の出力をもとに一定間隔でスケジュール、広告または求人情報に対するアクセスを起動する。ユーザ起動アクセス部 1 0 4 b は、ユーザが明示的にスケジュール等へのアクセスを指示したとき、実際にスケジュール取得動作を起動する。広告取得部 1 0 6 および求人情報取得部 1 0 8 も一定
5 の時間間隔またはユーザが指示したときにそれらの情報に対するアクセスを行ってもよい。広告や求人情報を取得するその他のタイミングの別の例として、ユーザがスケジュールの登録を要求したとき、スケジュールが実際に登録されたとき、ユーザがスケジュールを取得したとき等を挙げることができる。

図 6 は、目的時刻判定部 1 1 0 の内部構成を示す。スケジュール定型化部 1 1
10 0 a は、サーバ側システム 3 0 から送られてきたデータストリーム 4 0 0 のスケジュール 4 0 4 を解読し、スケジュールの内容と目的時刻を所定のデータフォーマットに落とす。

図 7 はそのフォーマット 4 3 0 を示す。このフォーマット 4 3 0 は、ヘッダ 4
3 2 とスケジュールの内容 4 3 4 とスケジュールの目的時刻 4 3 6 を含む。広告
15 定型化部 1 1 0 b および求人情報定型化部 1 1 0 c はそれぞれ広告と求人情報を図 7 同様のフォーマットへ落とす。これら 3 種類のフォーマット化されたデータは告知制御部 1 2 0 へ送られる。

図 8 は告知制御部 1 2 0 の内部構成を示す。告知制御部 1 2 0 は主に表示制御部 1 2 2 と音声通知部 1 4 0 を含む。表示制御部 1 2 2 は、カレンダー表示部 1 2
20 4 と非カレンダー表示部 1 2 6 を含む。

カレンダー表示部 1 2 4 は、スケジュールをカレンダーに組み込んだ形で表示する。その際、広告および求人情報もそのカレンダーに組み込まれ、またはそのカレンダーと関連づけられて表示される。カレンダー表示部 1 2 4 は、月表示部 1 2 8 と、週表示部 1 3 0 と、日表示部 1 3 2 と年表示部 1 3 4 と時刻表示部 1 3 6 を含む。
25 月表示部 1 2 8 は、広告の目的時刻が月単位で表現されていればスケジュールの該当する月の表示の中にその広告を組み込む。同様に、週表示部 1 3 0 は広告の目的時刻が週単位で表現されていればスケジュールの該当する週の表示の中にその広告を組み込む。日表示部 1 3 2、年表示部 1 3 4、時刻表示部 1 3 6 についても同様である。

これらの表示部は同時に複数が作動してもよく、たとえば「1999年11月27日から1週間」という目的時刻であれば、月表示部128、週表示部130、日表示部132および年表示部134の4つの表示部が同時に作動してもよい。ここでは広告について説明したが、求人情報についても同様である。

- 5 一方非カレンダー表示部126は、ユーザのスケジュール、広告、求人情報等をカレンダーではない形、たとえばメモの形で表示する。カレンダー表示部124と非カレンダー表示部126は同時に作動してもよく、たとえばスケジュールはカレンダーの中に記述するが、求人情報はカレンダーの外に表示することができる。

- 10 音声通知部140は、ユーザのスケジュール、広告、求人情報等を音声によって通知するための処理を行う。たとえば「本日午前10時東京駅」のようなメッセージでスケジュールを音声出力する構成としてもよい。メッセージをはじめとするテキストデータの音声出力については既知の任意の技術を用いてもよく、ここでは詳述しない。以上はPC12に内蔵されたクライアント側のスケジュール通信装置14の構成である。

- 15 図9は、サーバ側システム30の広告サーバ36に内蔵されたスケジュール装置38の内部構成を示す。

通信部200は広告サーバ36の有する任意の通信機能であり、通信I/F部202はこの通信部200とスケジュール通信装置38のインタフェースとして機能する。既述のごとく通信I/F部202は通信部200の中にあってもよい。

- 20 スケジュール要求受付部224は、ユーザから発信されたスケジュールに関する要求を受け付ける。この要求はユーザの識別情報とともに認証部226へ送られる。認証部226はテーブル232に記録されたIDとパスワードの組合せを参照し、ユーザを認証する。ユーザが正しく認証されたとき、ユーザのスケジュールに対する要求はスケジュール管理部222に送られる。スケジュール管理部222は、スケジュールデータベース42に対するデータのリードライトを制御する。したがって、ユーザのスケジュールに対する要求がスケジュールの確認であれば、そのユーザに関するスケジュールがスケジュールデータベース42から読み出され、これが送信データ生成部208へ送られる。送信データ生成部208は、ユーザのスケジュールを図4に示したデータストリーム400に変換し、
- 25

これを通信 I / F 部 2 0 2 および通信部 2 0 0 を介してユーザへ送信する。

個人情報取得部 2 0 4 は、図 2 に示すクライアント側のスケジュール通信装置 1 4 の個人情報入力部 1 1 6 に入力された個人情報を取得する。この個人情報は個人情報管理部 2 1 0 へ送られる。個人情報管理部 2 1 0 は個人情報データベース 4 4 に対するデータのリードライトを制御する。個人情報データベース 4 4 から読み出されたデータは必要に応じて探索部 2 2 0 へ送られる。

広告取得部 2 4 4 は、企業サーバ 5 2 その他から広告を取得する。この広告にはすでに目的時刻が付与されていてもよいし、されていなくともよい。目的時刻が付与されていない場合、広告取得部 2 4 4 は企業サーバ 5 2 等に対してその情報の送信を要求する。広告およびその目的時刻に関する情報は広告管理部 2 5 0 へ送られる。広告管理部 2 5 0 は広告データベース 5 0 に対するデータのリードライトを制御する。広告データベース 5 0 から読み出された広告は必要に応じて探索部 2 2 0 および課金管理部 2 4 6 へ送られる。

求人情報受付部 2 0 6 は、企業サーバ 5 2 等から求人情報を取得する。取得された求人情報はバッファメモリ 2 4 2 へ格納される。取得された求人情報は送信データ生成部 2 0 8 および課金管理部 2 4 6 へ送られる。送信データ生成部 2 0 8 は、後述する探索部 2 2 0 によって選抜されたユーザに対し求人情報を送るために必要なデータを生成する。求人応答受付部 2 4 0 は、ユーザに送信された求人情報に対する応募を受け付ける。受け付けられた応募はバッファメモリ 2 4 2 に格納される。

関連情報指示部 2 3 0 は、送信された広告や求人情報に関する関連情報に対してユーザがアクセスを試みたとき、そのアクセスを実現するための処理を行う。関連情報指示部 2 3 0 はユーザがどのような広告または求人情報に対して興味を示したかを把握できるため、その情報を探索部 2 2 0 へ送る。関連情報に対するアクセスはまた、本スケジュール通信装置 3 8 が適切なユーザに適切な広告や求人情報を送信できたことを示す尺度となるため、その情報は課金管理部 2 4 6 へ送られる。すなわち、一種の成功報酬としての課金が発生する。

図 1 0 は、個人情報取得部 2 0 4 の内部構成を示す。ゲーム配信部 2 0 4 a は、ネットワークを介してクライアントにゲームソフトウェアを配信する。クイズ配

信部 204b は、同様にクライアントにクイズを配信する。アンケート通信部 204c は、インセンティブ型アンケート配信部 204d と一般アンケート配信部 204e とアンケート受信部 204f を含む。

インセンティブ型アンケート配信部 204d は、ゲーム配信部 204a によって配信されたゲームで優秀な成績を収めたユーザにインセンティブ型のアンケートを配信する。インセンティブ型のアンケートとは、ユーザがその住所、氏名、年齢、職業、趣味、勤務先、好きなスポーツ、好きな音楽のジャンル、好きな映画、好きな雑誌、ひいきにしているスポーツチーム、よく出かける街、好きな食べ物、ライフスタイルに関する情報、行ってみたい国などの個人情報を回答することを条件として、ゲームで優秀な成績を収めたことに対する商品や景品をオンラインやオフラインで提供するものである。同様のアンケートは、クイズに正解し、または優秀な成績を収めたユーザにも配信される。

ユーザメリット提供部 204g は、そうした景品や商品等のユーザメリットをいろいろな形で提供する。この実施の形態では、たとえばユーザに対してネットワークの利用に関連するメリットを与える。たとえばスケジュールの通信で発生する費用を割り引いたり、音楽やゲーム等のソフトウェアを無料で配信したり、企業サーバ 52 を提供する企業の各種ネットワークサービスを低額で提供したり、ゲームまたはクイズの成績優秀者としてネットワーク上で表彰する等が考えられる。

一方、一般アンケート配信部 204e は、本実施の形態に係るスケジュールの通信サービスを開始する際に所定の必要事項をユーザに記入させるためのアンケート、その他とくにインセンティブを与えないタイプのアンケートを配信する。

アンケート受信部 204f は、インセンティブ型のアンケートまたは一般アンケートに対するユーザの回答を受信する。この回答は個人情報管理部 210 を介して個人情報データベース 44 に格納される。これらのアンケート、とくにインセンティブ型のアンケートにより、ユーザの詳細な個人情報をユーザ自らが進んで提供できる環境を作り出すことができる。そのため、ユーザをその嗜好に応じてセグメンテーションすることができる。

図 11 は個人情報管理部 210 の内部構成を示す。データベースリード部 21

0 a は個人情報データベース 4 4 から必要なユーザの個人情報を読み出す。読み出された個人情報は探索部 2 2 0 へ送られる。データベースライト部 2 1 0 b は、個人情報取得部 2 0 4 から送られた個人情報を個人情報データベース 4 4 へ書き込む。

- 5 図 1 2 はユーザごとに作成された個人情報カード 4 5 0 の構成を示す。個人情報カード 4 5 0 は個人情報データベース 4 4 に格納されている。このカード 4 5 0 は、アンケートの回答から得られた個人情報を格納するための第一の領域 4 5 2 と、後述する関連情報指示部 2 3 0 において得られた情報を格納する第二の領域 4 5 4 を含む。第一の領域 4 5 2 は、既述のユーザの住所氏名等の情報を格納
- 10 する。一方、第二の領域 4 5 4 は、後述のごとくユーザがアクセスした関連情報の内容、すなわちジャンルとそのアクセス回数を格納する。アクセスした関連情報の内容とその回数により、ユーザの嗜好を把握する趣旨である。

- 図 1 3 は、スケジュール要求受付部 2 2 4 の内部構成を示す。スケジュール確認受付部 2 2 4 a は、ユーザがそのスケジュールの確認の要求を送信したときこ
- 15 れを受け付ける。スケジュール更新受付部 2 2 4 b は、ユーザがそのスケジュールの登録または更新の要求を送信したとき、これを受け付ける。ただし、更新も登録もスケジュールの書き込みに相当し、それらに技術的な意味での相違はない。

- 図 1 4 は、認証部 2 2 6 の内部構成を示す。P I D / P P W 判定部 2 2 6 a は、ユーザが個人識別情報として送信してきた個人の I D とパスワードの整合性を判定
- 20 する。一方 G I D / G P W 判定部 2 2 6 b は、ユーザがグループの一員として送信してきた I D とパスワードの整合性を判定する。これらふたつの判定部は、I D とパスワードの組合せが正しいかどうかをテーブル 2 3 2 に格納された組合せに照らして判断する。マシン I D 判定部 2 2 6 c は、ユーザのマシンの I D が送られてきた際、これとユーザのパスワードの整合性等を判定する。ユーザが正
- 25 しく認証されたとき、スケジュールの確認または更新を許可すべく、そのユーザの名前または I D 等の情報がスケジュール管理部 2 2 2 へ送られる。

図 1 5 は、企業サーバ 5 2 から送信された求人情報 4 6 0 を示す。求人情報 4 6 0 は求人情報受付部 2 0 6 で受信され、バッファメモリ 2 4 2 へ一時的に格納される。求人情報 4 6 0 は、任意の数の募集を含む。ここでは、第一の募集 4 6

2としてコンサートチケット購入のためにアルバイトとして並ぶ人員が求められている。また第二の募集464として、PC設計の正社員が求められている。いずれの情報も、人員が必要とされる目的時刻、勤務地、勤務内容、給与、勤務の内容または分類、募集の詳細を知るための企業のホームページのURL等が記述
5 されている。目的時刻の例として、勤務開始日や開始時間、勤務の期間、勤務時間帯などがある。

図16は、企業サーバ52から送られた広告470を示す。広告470は広告取得部244で受信される。広告470は任意の数の広告アイテムを含む。ここでは第一のアイテム472としてレコードショップにおけるディスカウントセール
10 が記述され、第二のアイテム474として美術館における特別展が記述されている。いずれのアイテムも、ディスカウントの期間や展示の期間等の目的時刻、広告の対象となるイベントの開催場所、広告すべき内容、イベントの内容または分類、イベントの詳細を知るためにアクセスすべきURL等を含む。

図17は関連情報指示部230の内部構成を示す。アクセス検出部230aは、ユーザから送信されてきた広告や求人情報の関連情報、すなわちここでは詳細情報を知るためにPC12の画面等に表示されたボタン等（図示せず）を押したとき、このアクションを検出する。キャスト部230bは、アクセス検出部によって関連情報へのアクセスが検出されたとき、実際にその関連情報を保持する企業サーバ52またはそのホームページへユーザのアクセスをキャストする。
15

一方、アクセス情報分析部230cは、ユーザがクリックした関連情報の内容を判定するアクセス内容判定部230dと、その関連情報と同様の内容を持つ関連情報へユーザがアクセスした合計回数をカウントするアクセス回数計数部230eを含む。関連情報の内容は、その関連情報が属するジャンル、分野、カテゴリー等関連情報をインデキシングする任意の分類であってよい。
20

図12の個人情報カード450の第二の領域454は、こうして分析された関連情報の内容およびアクセス回数を示す。たとえば同図のごとく、このユーザは音楽関係の情報に10回アクセスし、美術関係の情報に5回アクセスし、以下同様にアクセスされた関連情報の内容とその回数がリスト化されている。アクセス情報分析部230cによって得られた情報は、個人情報取得部204へ送られ、
25

そこで個人情報カード450が作成される。ただし、個人情報カード450は第一の領域452のみを含む構成であってもよく、その場合、アクセス情報分析部230cによって得られた情報は直接探索部220へ送られる。これらの情報の管理および格納の方法に種々の形態があることは当業者には容易に理解されるところである。

5 ころである。

図18は探索部220の内部構成を示す。探索部220は主に、広告に関連する探索機能と、求人情報に関連する探索機能を有する。広告に関連する探索機能として、広告ベースユーザ検出部220aおよびユーザベース広告検出部220bが設けられている。

- 10 広告ベースユーザ検出部220aは、まず企業がユーザに配信したいと考える広告を想定する。しかるのち、その広告に適合するユーザを選択する。ユーザを選択する際、個人情報カード450が利用される。たとえば広告があるデパートの大売り出しに関するものであれば、たとえばショッピングを趣味とするユーザが選択される。また、音楽CDのディスカウントセールが広告の内容であれば、
- 15 音楽に興味を持つユーザが選択される。別の例として、横浜のバーゲンセールに関する広告であれば、まず横浜を中心とするユーザが選択される。ユーザは個人情報カード450の第一の領域452、第二の領域454のいずれを用いて選択されてもよいし、それらの領域に含まれる任意の項目の任意の組合せをもとに選択されてもよい。いずれにせよ、広告ベースユーザ検出部220aは、ある広告
- 20 をベースに、その広告に何らかの意味で嗜好が合致する、または興味を持ちうるユーザを選択すればよい。

- 一方、ユーザベース広告検出部220bは逆に、まずあるユーザを想定する。つづいてそのユーザにふさわしい広告を選択する。このときも個人情報カード450が利用される。たとえば図12に示す個人情報カード450を持つユーザに
- 25 ついて広告を選択する際、そのユーザの趣味がドライブであり、頻繁にアクセスした分野が音楽や旅行であるとわかる。したがって、図16に示す広告470の複数のアイテム472、474等から「ドライブ」「音楽」「旅行」等の言葉、またはそれらに関連する言葉を含むアイテムを選択する。図16のごとく、あらかじめアイテム472、474等が「分類」という情報レコードを有していれば

その分類をもとに広告を選択してもよい。

ユーザベース広告検出部 220b はさらに、ユーザのプロファイル、たとえば年齢、住所、職業等からそのユーザが興味を持ちうる広告を選択することもできる。ユーザのプロファイルからある程度その消費傾向を推測することができるためである。ユーザのプロファイルを利用した選択は、当然ながら広告ベースユーザ検出部 220a でも行うことができる。

一方、求人情報に関する選択は、求人条件マッチング判定部 220c で行われる。求人条件マッチング判定部 220c は、ユーザスキル判定部 220d とユーザ嗜好判定部 220e とユーザスケジュール判定部 220f を含む。ユーザスキル判定部 220d は求人情報に明示的または暗黙的に含まれる求人の条件と整合するスキルを有するユーザを選抜する。

たとえば図 15 の求人情報 460 の第二のアイテム 464 は、職務の内容が PC の設計である。したがって、現在または過去の職歴に PC の設計、情報機器の開発等が記載されているユーザがまず選抜される。求人の条件として年齢や資格の有無が定められている場合、それらの条件も併せて満たすユーザが選抜される。ユーザの選抜にあたり、あらかじめ求人情報を作成した企業に、ユーザを探索する際のキーワードを選定させてもよい。

ユーザ嗜好判定部 220e は、求人の職務のジャンルに嗜好があうユーザを選抜する。たとえば求人の内容が図 15 の求人情報 460 の第一のアイテム 462 のように、音楽に関連するアルバイトであれば、個人情報カード 450 をもとに音楽に興味を持ちうるユーザが優先的に選抜される。

ユーザスケジュール判定部 220f は、求人情報の目的時刻にスケジュールが整合するユーザを選抜する。すなわち、求人情報の目的時刻にスケジュールが入っていないユーザを優先的に選抜する。そのため、ユーザスケジュール判定部 220f は、スケジュール管理部 222 を介してスケジュールデータベース 42 へアクセスする。ただし、企業が比較的長期にわたる勤務、たとえば正社員としての人員を求めている場合、その条件に見合うほど長期間にわたってスケジュールが入っていないユーザはほとんど存在しないと考えられる。したがってその場合、ユーザスケジュール判定部 220f は比較的短期の勤務に関する求人情報につい

てユーザを選抜してもよい。

以上、この探索部 220 によれば、広告を流したときの効果が大きいと思われるユーザをあらかじめ絞り込むことができ、そうしたユーザに集中的に広告を流すことができる。逆にユーザから見た場合、配信されてくる広告はいずれも比較
5 的自分の興味をひくものであり、氾濫する情報の中で自分が欲する情報を見失う危険性が減る。

求人情報については、求人情報マッチング判定部 220c の作用により、企業における応募者の選抜の手間を軽減できる。ユーザスキル判定部 220d は企業における応募者の書類選考を一部代行しうる。ユーザから見ても、自分のスケ
10 ュジュールが空いているときに自分が比較的兴趣を持ちやすい仕事が提示されるため、効率的に良質の求人情報を得ることができる。

すなわち、探索部 220 はユーザのために広告と求人情報をスクリーニングする機能を提供し、同時に企業に対して効果的なマーケティングおよび人材の確保のスクリーニング機能を提供する。しかも、こうした広告や求人情報がスケ
15 ュジュールにリンクされた形で提供されるため、ユーザによる情報の活用に極めて高い利便性を与える。流動性のある労働力の効率的かつ迅速な確保が企業の存続に影響を与える今日、この実施の形態の意義は大きい。

図 19 は送信データ生成部 208 によって生成された送信データ 500 を示す。送信データ 500 は、ヘッダ情報の一部であるユーザ／グループアドレス 502、
20 スケジュール 504、広告 506、求人情報 508 を含む。ユーザ／グループアドレス 502 は、探索部 220 によって特定された、スケジュール 504 等を送信すべきユーザまたはグループのアドレスである。ただし、グループのアドレスは各ユーザと別個に存在する必要はなく、そのグループに属する複数のユーザの複数のアドレスの集合体であってもよい。スケジュール 504、広告 506、求
25 人情報 508 はそれぞれの中に目的時刻を含むよう生成される。ただし、送信データ生成部 208 は必ずしも目的時刻を含めた形でスケジュール 504 等を記述する必要はない。その場合、クライアント側のスケジュール通信装置 14 の目的時刻判定部 110 がスケジュール取得部 104 を介して目的時刻を問い合わせる構成としてもよい。すなわち、目的時刻の最終的な確定は、送信データ生成部 2

08、クライアント側のスケジュール取得部104および目的時刻判定部110の間で分担することができる。

図20は課金管理部246の内部構成を示す。この実施の形態では、課金は広告または求人情報のユーザへの配信を要請した企業に対して行われる。企業サーバ識別部246eは求人情報、または広告の配信を依頼した企業サーバを特定する。特定された企業サーバごとにテーブル248の中に課金情報が生成される。

求人情報カウンタ246aは企業サーバから依頼された求人情報、またはそれに含まれる求人アイテムを計数する。同様に広告カウンタ246bは企業サーバから依頼された広告またはそれに含まれる広告アイテムを計数する。これらのカウンタによるカウント値にそれぞれ単価がかけられ、課金情報が生成される。

この実施の形態ではさらに、企業が探索部220によるユーザの探索を依頼したとき、探索の内容や回数によって料金が加算される。探索加算部246cはそのための計算を行う。たとえばユーザを選抜する際の条件の数に単価をかけて加算額を決定する。その他、探索に要した時間等をもとに加算額を決定してもよく、この部分も設計の自由度が高い。

課金情報管理部246はさらに関連情報アクセスカウンタ246dを有する。このカウンタは、広告または求人情報を受信したユーザがその関連情報にアクセスした回数を記録する。この回数が多いほどユーザが高い興味を示したことになるので、前述のごとく一種の成功報酬として料金が加算される。以上、全ての料金が合計されこの企業に対する課金額がテーブル248へ格納される。

以上のスケジュール通信システム10によるスケジュールの通信およびそれに伴う広告と求人情報の配信処理について具体的に説明する。

図21は、ユーザがスケジュールを確認するときPC12のディスプレイに表示される初期画面300を示す。ここではスケジュールを確認するための個人識別情報入力画面302が表示されている。ユーザは、個人としてのスケジュールにアクセスしたい場合には個人に関するID(PID)およびパスワード(PPW)を入力する。一方、自分が所属するあるグループのスケジュールを見たい場合には、グループのID(GID)およびそのパスワード(GPW)を入力する。

図 2 2 は、ユーザが携帯電話 1 6 を用いてスケジュールを確認する際に表示される初期画面 3 6 0 を示す。携帯電話の場合、個人の I D は契約者番号（電話番号）によって特定することができるため、ここでは単にパスワードを入力すればよい。同図ではパスワードの入力窓をひとつだけ描いているが、当然グループのパスワードを入力可能としてもよい。以下、P C 1 2 を用いるときと携帯電話 1 6 を用いるときで本質的な相違はないため、P C 1 2 を用いる例を中心に説明する。

図 2 3 は、ユーザが正しく認証された後表示されたスケジュールである。スケジュール表示画面 3 3 2 は、告知制御部 1 2 0 の表示制御部 1 2 2 の作用により、今日、今週、または今月のスケジュールが切り替え可能に表示される。これらの切り替えは「今日」のタブ 3 1 0、「今週」のタブ 3 1 2、「今月」のタブ 3 1 4 によって切り替え可能である。

図 2 3 は、今日のスケジュールを示している。スケジュール表示画面 3 3 2 の左半分は主に時経列に並べられたスケジュールに関する。一方右半分はスケジュールに対する補足情報を表示し、たとえばメモ、友人等のアドレス、スケジュール帳の任意の場所に貼り付けることが可能な各種マークを収めたシールの画面が選択できる。選択は「メモ」タブ 3 1 6、「アドレス」タブ 3 1 8、「シール」タブ 3 2 0 によって行われる。

まず左画面において、「今日」のスケジュールが選択されているとする。そのとき今日の日付 1 1 月 2 7 日が表示され、その下に今日の予定が表示されている。今日の予定の欄は、目的時刻の欄 3 4 0 とスケジュールを象徴的に表すシンボルの欄 3 4 2 とスケジュールの内容を示す欄 3 4 4 を含む。シンボルの欄 3 4 2 には、四角、三角、丸の 3 種類のシンボルが記入されている。たとえば四角は個人のプライベートな予定に関連し、丸は仕事に関連し、三角は企業から送られた広告を示す。この図の場合、このユーザは 1 1 時にスポーツクラブの予約をし、1 3 時にアルバイトに入る。1 6 時に記述された「mini ライブ AAA in 横浜」は、このユーザが興味を持ちうるとして選択された広告である。この場合、このユーザはたとえば「AAA」というロックグループのファンクラブに入っていた可能性がある。このように広告はその目的時刻にしたがってユーザのスケジ

ユーザの中に組み込まれて表示される。

ユーザのスケジュールが表示された「今日の予定」の欄外に「11/28 ××でチケット購入バイトあり」という表示がなされている。これはこのユーザが興味を持つとして、またはこのユーザの予定が空いている日に相当するとして
5 選択された求人情報である。この情報の前に丸印346が付され、これが仕事すなわち求人情報に関連することが明示されている。ただし、ユーザ自身がすでに行っている仕事、たとえば13時に入るアルバイトと区別するために、丸印346の色を変える等の工夫をなしてもよい。

この求人情報にはリンク348がはられており、ユーザはその部分をクリック
10 することによりこのアルバイトのより詳細な情報を確認することができる。

なお、「今日の予定」のスケジュールの欄は「日記」の表示と切り替えが可能である。また今日の日付「11/27」および「今日の予定」以外の余白部分にユーザが望む任意のキャラクターまたは画像を表示する構成としてもよい。そうしたキャラクターや画像は広告を流す企業が低額または無償で提供してもよい。

15 一方、スケジュール表示画面332の右画面は、現在メモを表示する状態になっている。ここではこのユーザが11時に予約をすべきスポーツクラブの電話番号がメモとして書き込まれている。右画面にはサーバから最新情報を取り寄せるためにクライアントとサーバの間でコネクションを確立するための接続ボタン322が設けられている。ユーザがこの接続ボタン322を押すと、このPC12
20 はダイヤルアップ等任意の接続方法でインターネットに接続し、サーバから最新の広告や求人情報等を受信する。

ユーザがスケジュールの確認や更新をするときにもこの接続ボタン322を押せばよい。接続ボタン322が押されたとき、その旨が図5のスケジュール取得部104のユーザ起動アクセス部104bに伝えられる。一方、ユーザが接続ボ
25 タン322を押さない場合であっても、この実施の形態ではタイマー150の作用により、定間隔アクセス部104aを介してユーザのスケジュール等が取得される。

図24はスケジュール表示画面332の別の状態を示す。左画面では、「今週」のスケジュールが選択されており、11月7日から13日の1週間のスケジュー

ルが表示されている。ここでも個人のスケジュールが表示される他、11月11日には「BBBニューシングル発売」という広告が表示されている。また、スケジュールの領域の欄外には「ABCレコードセール中(11/6-12)」という広告も表示されている。この広告にもリンク348が設定され、関連情報への
5 アクセスが可能となる。

一方、右画面では「シール」の画面が選択されている。ここでは「かいもの」を示す象のシンボル350をはじめ、いろいろな行動予定やスケジュールに関連することばに画像シンボル350が与えられている。これらのシンボル350はスケジュールをより簡潔に、かつわかりやすく表示するためにスケジュールの中
10 に貼り込むことができる。また、これらのシンボル350をそのままシール用紙にハードコピーすることにより、実際にシールとして利用することもできる。これらのシンボルも、ユーザが自ら描きうる他、広告等を提供する企業から無償でダウンロードできる構成としてもよい。

図25はスケジュール表示画面332のさらに別の状態を示す。まず左画面に
15 おいて、「今月」のスケジュールが選択され、1999年11月の1ヶ月のスケジュールが表示されている。この場合スケジュールの内容を書き込むスペースがないため、先に導入した四角、丸、三角のシンボル342のみを表示している。この状態で任意の日付をクリックすることでその日のスケジュールを表示する構成としてもよいし、任意のシンボル342をクリックすることでそのシンボルに
20 対応するスケジュールの内容を表示する構成としてもよい。当然ながら、シンボルの形状や色もユーザごとに任意に設定できる構成としてもよい。

図26はユーザが携帯電話16を利用する際スケジュールの確認のために現れる画面360を示す。この画面360は、図23のスケジュール表示画面332の左画面に対応する。一般に携帯電話16は表示画面が狭いため、PC12のデ
25 ィスプレイに表示されるスケジュールのための画面の任意のサブセット、または携帯電話16に特化した画面を表示させればよい。

図27は、ユーザがスケジュールを確認する際の手順を示すフローチャートである。ユーザはまずスケジュール取得部104を用い、スケジュール確認の要求を送信する(S10)。広告サーバ36のスケジュール要求受付部224はユー

ザから発信された要求を受け付ける（S 1 2）。つづいて、認証部 2 2 6 がユーザを認証する（S 1 4）。認証が正しく終われば、スケジュール管理部 2 2 2 によりそのユーザのスケジュールがスケジュールデータベース 4 2 から読み出され（S 1 6）、これが送信データ生成部 2 0 8 へ送られる。送信データ生成部 2 0 8 は、送信データ 5 0 0 を生成し（S 1 8）、これを通信 I / F 部 2 0 2 へ送る。送信データ 5 0 0 は通信 I / F 部 2 0 2 から通信部 2 0 0 へ送られ、ユーザへ送信される（S 2 0）。

ユーザは送信された送信データ 5 0 0 を通信部 1 6 2 および通信 I / F 部 1 1 2 を介してスケジュール取得部 1 0 4 にて取得する（S 2 2）。つづいて、目的時刻判定部 1 1 0 においてスケジュール、および存在する場合の広告と求人情報の目的時刻を判定する（S 2 4）。つづいて、告知制御部 1 2 0 においてスケジュールその他の情報のカレンダー表示がなされる（S 2 6）。ユーザはカレンダー表示されたスケジュールその他の情報を見ることにより、自らのスケジュールおよび広告または求人情報を確認することができる（S 2 8）。

図 2 8、図 2 9 はスケジュールを確認する際に広告も表示するための手順を示すフローチャートである。広告をユーザに配信する準備として、まず企業サーバ 5 2 から広告サーバ 3 6 へ広告 4 7 0 が送信される（S 1 0 0）。広告サーバ 3 6 は、受信した広告 4 7 0 のセグメント化と格納を行う（S 1 0 2）。ここでセグメント化とは、後に必要な広告をより簡単に探索すべく、その広告に必要なキーワードを与えることをいう。ただし、広告 4 7 0 が企業サーバ 5 2 から送られてきた時点ですでにこうした分類のためのキーワードが付与されている場合、セグメント化は必要ない。広告 4 7 0 は、広告管理部 2 5 0 を介して広告データベース 5 0 に格納される。

つづいて個人情報管理部 2 1 0 を介して個人情報データベース 4 4 を読み出し、目的ユーザを探索する（S 1 0 6）。ここで目的ユーザとは、先ほどの広告を送信すべきユーザをいう。この探索は個人情報カード 4 5 0 をもとに探索部 2 2 0 によって行われる。以上で広告を配信するための準備が完了する。

ここでユーザがスケジュール確認の要求を発信したとする（S 1 0）。広告サーバ 3 6 はこの要求を受け付け（S 1 2）、ユーザを認証し（S 1 4）、そのユ

ユーザのスケジュールを読み出す（S 1 6）。ここで、このユーザが先ほどの広告の目的ユーザであるか否かにより処理が異なる（S 1 0 8）。目的ユーザであれば、送信データ 5 0 0 にスケジュールのみならず広告を格納し、データ T D 1 を生成する（S 1 1 0）。一方、目的ユーザでなければ、広告を格納せずにデータ
5 T D 2 を生成する（S 1 1 2）。こうして生成された送信データ 5 0 0 はユーザに送信される（S 2 0）。

ユーザは、送信データ 5 0 0、すなわちデータ T D 1 または T D 2 を受信する（S 2 2）。つづいてそのスケジュールおよび必要な場合には広告の目的時刻を判定する（S 2 4）。スケジュール等の情報はカレンダー表示され（S 2 6）、ユーザはスケジュール等の情報を確認する（S 2 8）。さらに、ユーザが表示された
10 広告に興味を示したとき、ユーザは関連情報、すなわち詳細広告の表示を要求する（S 1 2 0）。この要求は、関連情報アクセス部 1 6 0 により発信される。この要求は関連情報指示部 2 3 0 のアクセス検出部 2 3 0 a により検出される。キャスト部 2 3 0 b は、ユーザに詳細な情報を送るべくアクセスがあった旨を企業サーバ 5 2 へ取り次ぐ（S 1 2 2）。それと並行して、アクセス情報分析部 2 3 0 c によりユーザがアクセスした情報の内容の判定およびアクセス回数のカウントが行われる（S 1 2 4）。

企業サーバ 5 2 または企業のホームページは、ユーザに求められた関連情報、すなわち詳細広告をユーザに直接、または WWW サーバ 3 4 を介して、または
20 広告サーバ 3 6 を介して送信する（S 1 2 6）。詳細広告を受信したユーザはその内容を確認する（S 1 2 8）。

なおここでは、まず広告を仮定してユーザを選択したが、当然これは逆であってもよい。すなわちユーザを先に仮定し、そのユーザにふさわしい広告を選択する構成であってもよく、その処理については図 1 8 の探索部 2 2 0 の広告ベース
25 ユーザ検出部 2 2 0 a またはユーザベース広告検出部 2 2 0 b のいずれかの機能によって実現される。

図 3 0 は広告サーバ 3 6 からユーザへ向けて求人情報を発信する手順を示すフローチャートである。ユーザに求人情報を配信する準備として、まず企業サーバ 5 2 が広告サーバ 3 6 へ求人情報を発信する（S 2 0 0）。求人情報は求人情報

受付部 206 で取得される (S 202)。つづいて個人情報管理部 210 が個人情報データベース 44 から個人情報を読み出す (S 204)。個人情報は個人情報カード 450 として探索部 220 へ送られる。スケジュール管理部 222 はユーザのスケジュールをスケジュールデータベース 42 から読み出す (S 206)。

5 スケジュールの情報も探索部 220 へ送られる。

探索部 220 は目的ユーザを探索する (S 208)。まず個人情報をもとに、求人条件マッチング判定部 220c のユーザスキル判定部 220d およびユーザ嗜好判定部 220e がユーザの絞り込みを行う。つづいてユーザスケジュール判定部 220f が求人情報の目的時刻にスケジュールが入っていないユーザを選抜
10 する。送信データ生成部 208 は、目的ユーザのアドレスを格納して送信データ 500 を生成し、これを通信 I/F 部 202 および通信部 200 を介してユーザに発信する (S 210)。

ユーザはその求人情報取得部 108 により、広告サーバ 36 から送られた求人情報を取得する (S 212)。求人情報は目的時刻判定部 110 および告知制御部 120 による処理を経てカレンダー表示される (S 214)。ここではかりにユーザが求人に応募するとする (S 216)。応募は求人応答部 114 を介して行われる。応募はいったん広告サーバ 36 へ送られ、求人応答受付部 240 で取得され、バッファメモリ 242 へ格納される。つづいて、応募があった旨が求人応答受付部 240 から通信 I/F 部 202 および通信部 200 を経て企業サーバ 5
20 2 へ取り次がれる (S 218)。この後、企業とユーザの間で任意の雇用契約が結ばれる (S 220)。

なお、ここでは任意のタイミングで求人情報がユーザへ送信される例を示したが、当然ユーザがスケジュールを確認した際にこれを送信する構成としてもよい。この例でも求人情報を仮定し、それにふさわしいユーザを探索することにしたが、
25 まずユーザを仮定しそのユーザに適合する求人情報を選択する構成としても何ら差し支えはない。

以下、実施の形態の変形例のいくつかを挙げる。

ユーザの誕生日を予め端末側またはサーバ側に登録しておき、その日の欄に「ハッピーバースデー」などとお祝いのことばを流し込んでもよい。また、そのこと

ばから所定のサイトへのリンクをはり、そのサイトでノベルティグッズなどをオンラインまたはオフラインで提供する構成としてもよい。さらに、自分だけでなく、友人や家族の誕生日を登録しておき、それらの日の数日前のカレンダー欄に友人等の誕生日が近づいていることを告知してもよい。それら友人等に、プレゼントを送るために、前記告知のことばから商品販売サイトへリンクをはっておい

5 てもよい。

求人情報に関する目的時刻は、勤務時間でなくともよい。スケジュール通信装置 14、38 は、たとえば就職シーズンにおいて、いろいろな会社の説明会や面接の時間を目的時刻としてスケジュール内に流し込んでもよい。この場合、求人

10 情報は広告と把握されてもよい。ユーザは希望する職種、勤務場所、勤務時間、給与、その他の条件を予め登録しておくことにより、膨大な求人情報の中から必要な情報をタイムリーに探し出すことができる。実施の形態では、すでに予定の入っているユーザには求人情報を送らないとしたが、その場合にも、状況によつて送ってもよい。ユーザのスケジュール通信装置 14 の告知制御部 120 は、そ

15 うした情報を別の色や薄い色で表示したり、ユーザのスケジュールよりも下または通常よりも小さく表示するなど、もともとのユーザのスケジュールが優先的に把握できる表示制御機能をもつてもよい。とくに、ユーザにとって重要な情報、たとえば第一志望の会社の面接日時などは、たとえスケジュールが入っていても、ユーザはいち早く知りたいはずである。そのためクライアント側に、自分のスケ

20 ジュールとバッティングする情報の表示許否を決めるオプション機能を設けてもよい。

スケジュール通信装置 14、38 は、入学試験その他の試験に関する情報も求人情報または広告の一種として扱ってもよい。たとえば、希望する学校の条件をオンラインのアンケートその他の方法で登録しておくことにより、その学校の試験日程等をスケジュールに流し込む構成としてもよい。受験機関や塾が、カリキュラムをスケジュールの中に表示すべくスケジュール通信装置 14、38 を利用

25 してもよい。カレンダーへ流し込むべき広告や求人情報、またはそれにリンクされた関連情報がある程度大きなデータになる場合、メインサーバ 32 側でその情報を整形してユーザのスケジュール通信装置 14 へ電子メールで送信してもよい。

試験、受験などに限らず、ユーザは自分が興味をもつ情報のキーワードをアンケート等によって登録しておくことにより、そのキーワードにヒットする情報を広告としてスケジュール内に受信してもよい。そのために、例えば個人情報入力部 1 1 6 でキーワードを受け付け、これをサーバ側の個人情報管理部 2 1 0 で保持し、探索部 2 2 0 によって広告またはその中のキーワードと照合する。その結果、ヒットした情報がユーザへ広告として送られ、これがスケジュールの目的時刻に沿って告知される。課金管理部 2 4 6 は、より多数のキーワードがヒットしたユーザへの広告配信単価をより高く設定して広告費を企業へ課金してもよい。

目的時刻は、広告の対象となるセールスの開催日時など、イベントに密着した客体的な要因で決める必要はなく、たとえば企業が広告をユーザに見せたい日時のような主体的な要因で決めてもよい。その場合、広告を打つ企業は、「1 0 月 1 0 日の午前 1 0 時の枠に広告を入れたい」という要望を出せばよく、その日時が目的時刻として扱われる。求人情報も同様である。サーバ側のスケジュール管理部 2 2 2 は、広告や求人情報を送るべきターゲットユーザのスケジュールが比較的あいている日時を検出し、その日時を目的時刻として広告または求人情報を出す企業を募ってもよい。そうして配信された広告は、ユーザのスケジュール通信装置 1 4 のカレンダーの当該日時に流し込まれる。このように、ユーザのスケジュールの空隙を埋める形の広告や求人情報については、カレンダー外で告知される広告よりも広告費を安価に設定する方法もある。

実施の形態では、求人情報がユーザの空いている時間帯に送られたが、逆にユーザが、スケジュール通信装置 1 4 によって、自ら働きたい日時や希望職種、すなわち「逆求人情報」ともいうべき労働力提供情報を送信してもよい。その場合、スケジュール通信装置 1 4 のスケジュール登録部 1 0 2 などに、ユーザがカレンダー表示の中に働きたい時間帯と希望等の付加情報を入力する機能をもたせればよい。この労働力提供情報は、メインサーバ 3 2 を介して企業サーバ 5 2 へと転送される。

実施の形態では、ユーザを個人として認証する機能と、グループとして認証する機能を述べた。自分自身やその属するグループのスケジュールのみならず、たとえば自分がある音楽バンドのファンクラブに入っている場合、そのバンドのス

ケジュールを確認可能としてもよい。すなわち、まったく他人のスケジュールを所定の手続を経て確認できる構成も可能である。その場合、そうしたアクセスを許す会員に特別なIDやパスワードを設定してもよい。また、特別な課金管理を行ってもよい。課金の多様性については、実施の形態のさまざまなサービスにおいて同様である。

ユーザを個人またはグループとして認証する以外に、ユーザがスケジュールを入力する際、「パーソナル」「ビジネス」「全部公開」というような選択をすることで、それぞれ「ごく親しい仲間」「仕事関係者」「自分のスケジュールを見たい全員」に対してスケジュールを公開することができる。この場合クライアントであるスケジュール通信装置14は、ユーザが入力するスケジュール情報の公開度に関するユーザの指定を受け付ける機能をもてばよく、サーバ側システムのスケジュール通信装置38はその公開度をもとに、スケジュールにアクセスを希望するユーザにアクセスを許すかどうか判定する機能をもてばよい。別の方法として、各ユーザは「パーソナル」「ビジネス」「全部公開」について別々のキーワードを設定し、相手にそれらのいずれかのキーワードを教えることで、所望の公開度でスケジュールを共有することができる。なお、これら任意のパスワードは、各ユーザのスケジュール通信装置14のメモリ（図示せず）に保存しておいてもよく、その場合、パスワードを忘れる心配がなくなる。

ユーザによるスケジュール確認を容易にするために、決まった時刻、たとえば朝早い時間に、サーバ側のスケジュール通信装置38はその日のユーザのスケジュールを電子メールでユーザに送信する構成をもってもよい。

ユーザのスケジュール内に広告や求人情報を流し込む際、その数に上限を設けてもよい。その上限はユーザが設定可能としてもよい。あまりにも多数の広告等がユーザのカレンダーに流し込まれる事態を予防するためである。この場合、たとえばクライアントのスケジュール通信装置14の告知制御部120や広告取得部106、その他任意の箇所で広告等の数が上限に達したらそのカレンダー等への組込みまたは告知を中止、中断する等の措置をとることができる。

ユーザが入力するスケジュールの量や流し込まれる広告の量に応じて、カレンダーの日、週などの枠の大きさを可変としてもよい。たとえば、日曜に予定が多

くなるユーザは、当然日曜の枠が大きいほうが都合がよい。したがって、告知制御部 120 のカレンダー表示部 124 は、表示すべき情報量を検出する機能と、その情報量に応じて可変にカレンダーを表示する機能とを備えればよい。

スケジュール管理プログラムは、すでにいくつか市販されるか、WWW上で利用可能になっている。また、PC等を購入するとき、プリインストールされているときもある。そうした他のスケジュール管理装置との連携をとるために、クライアントのスケジュール通信装置 14 は、他のスケジュール管理装置との間でユーザのスケジュールデータをインポートまたはエクスポートするためのデータフォーマット変換部を備えてもよい。

10 ニュースも広告の一種として配信することができる。たとえば、2000年4月27日午後8時のニュースの見出しをユーザのスケジュールの該当日時に流し込んでもよい。その場合、目的時刻判定部 110 は、ニュース配信の時刻またはニュースのもととなったできごとの発生時刻、たとえば地震の発生時刻など、ニュースに関連する時刻を目的時刻と把握すればよい。

15 クライアント側のスケジュール通信装置 14 は、ユーザが期限のあるスケジュールをカレンダーに記入するための機能を例えばスケジュール登録部 102 に備えてもよい。たとえば、5月10日までに提出のレポートがあるとき、「5月10日」の欄に「期限付き」という属性を指定して「レポート提出」と記録しておく。ユーザがこの記録を消さないうちに所定の日時、たとえば一週間前に当たる
20 5月4日になったとき、タイマー 150 と告知制御部 120 などの協働により、ユーザに警告を出す構成としてもよい。

自分が追跡したい人の居場所をスケジュールカレンダーの中に記録していてもよい。たとえば、タイマー 150 によって一定時間ごとに自分の子供に持たせた PHS 端末の位置発信機能を利用してその位置を検出し、子供の行動記録を自分またはその子供のカレンダーへ書き込むことができる。このために、スケジュール通信装置 14、38 の通信部に、位置検出結果を受信する機能をもたせ、目的時刻判定部 110 に、その場所にいた時刻を目的時刻として検出する機能をもたせればよい。

前記通信部は、ユーザ本人の居場所を自動的に検出し、これをそのユーザのカ

レンダーへ書き入れていく構成であってもよい。その場合、ユーザは自分の行動日誌を自動的にログファイルとして形成していくことができる。自身の居場所の検出にGPSシステムを利用してもよい。

天気予報を広告としてカレンダーの対応する日時に流し込んでいってもよい。

- 5 たとえば、5月5日の欄に「晴れ」のマークを入れたり、5月5日の詳細なスケジュールの欄に時刻ごとに変化する天気の予報を、例えば午前10時の箇所に「晴れ」、午後3時の箇所に「曇り」というように詳細に入れてもよい。これらのマークの近傍に、小さくスポンサーの表示を入れることにより、広告価値が生じる。なお、天気予報のように地域に依存する情報を配信する場合は、登録されている
- 10 そのユーザの住所を手かりにするほか、ユーザがスケジュールに書き込んだ地名をメインサーバ32側で識別して「横浜は晴れ」というような表示を出すほか、そのユーザのスケジュール通信装置14に別途設けた位置発信装置をもとに、メインサーバ32側でユーザの居場所に合わせた表示をすることもできる。

- 15 天気同様、株価、為替相場その他の刻々変化する情報をユーザの登録内容にしたがって選択し、その時々をの情報をカレンダーに流し込んでもよい。この場合、株価等の情報も広告と考えればよい。目的時刻はその株価がついた時刻やそれを配信した時刻などである。このサービスでもスポンサーを表示することができ、またユーザは興味のある銘柄を簡便な仕組みでフォローできるため、双方に利益が大きい。

- 20 情報をセグメント化してカレンダーに流し込んでもよい。セグメント化とは、情報をその内容やジャンルに応じて分類する場合のほか、その情報を配信すべきユーザのタイプに応じて分類する場合を含む。つまり、情報をその客体によって分類するほか、主体によって分類する場合を含む。

例として、セグメント化は、

- 25 ・スポーツ、トラベル、映画、レストランなどの客体的特徴
・若い人、男性など対象者の主体的特徴

にしたがって行われる。例えば、「レストラン」というタイトルだけをカレンダーに流し込み、このタイトルからインターネット上のいろいろなレストランのサイトへリンクを張ったり、そうしたレストランを一カ所に集めた「レストラン・

ポータル・サイト」のような情報アイテム別の集約サイトまたは集約ページ（以下「集約ポイント」という）へリンクを張ってもよい。実施の形態で利用するスケジュール通信装置 14 のカレンダーの日付欄はさして大きなスペースを持たない場合も多く、セグメント化された情報ごとにひとつのタイトルで配信され表示されることのユーザメリットは大きい。この方法によれば、ユーザは同様の商品を比較検討することもできる。

タイトル配信の際にも、目的時刻という概念は利用可能である。例えば、そのタイトルを他の広告等の情報が占領していない日時に入れることができる。その場合、他の情報の目的時刻を予備的にチェックし、重ならないか、または重なり
10 の比較的少ない日時を目的時刻として採用することができる。なお、こうした目的時刻に関する選定方法は、タイトル配信以外にも利用できることに留意すべきである。

タイトル配信の目的時刻として、そのタイトルに関連する日を選定する方法もある。例えば、母の日であれば、「母」をタイトルとするいろいろな情報をサーバ側に集めてもよい。ユーザはタイトルをクリックすることで、「母」に関する
15 情報アイテムへ、またはそのための集約ポイントへオンラインでアクセスし、必要な情報の表示を受けることができる。

以上のほか、たとえばユーザが求める医療、不動産、物品売買・提供、運勢、旅行、趣味、文化などの情報を広告またはタイトルなどの形で配信することが
20 き、実施の形態の応用範囲は広い。

請求の範囲

1. ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信方法であって、
前記ネットワークを介してユーザの前記スケジュールを受信するステップと、
5 前記ネットワークを介して前記ユーザの嗜好に沿うものとして選択された広告を受信するステップと、
前記広告の目的時刻を判定するステップと、
前記スケジュールの中に前記目的時刻に沿って前記広告を組み込んで前記ユーザに告知するステップと、
10 を含むことを特徴とするスケジュール通信方法。
2. 前記ユーザのスケジュールを登録するステップをさらに含む請求の範囲 1 に記載の方法。
- 15 3. 前記スケジュールを受信するステップ、前記広告を受信するステップの少なくとも一方は、タイマーの設定により定期的に実施される請求の範囲 1 に記載の方法。
4. 前記ネットワークを介して前記ユーザが個人情報を送信するステップをさらに含み、その個人情報をもとに前記広告が選択される請求の範囲 1 に記載の方法。
20
5. 前記選択された広告の関連情報へ前記ネットワークを介してアクセスするステップをさらに含み、その関連情報の内容をもとに前記広告が選択される請求
25 の範囲 1 に記載の方法。
6. 前記関連情報へのアクセス頻度をもとに前記広告が選択される請求の範囲 5 に記載の方法。

7. 前記ネットワークを介して求人情報を受信するステップをさらに含む請求の範囲 1 に記載の方法。

8. 前記求人情報は予め選抜されたユーザのみが受信可能に構成される請求の
5 範囲 7 に記載の方法。

9. そのスケジュールが前記求人情報の目的時刻に整合するユーザが選抜される請求の範囲 8 に記載の方法。

10 10. 前記求人情報の目的時刻にスケジュールが入っていないユーザが選抜される請求の範囲 9 に記載の方法。

11. 前記ネットワークを介して前記ユーザが個人情報を送信するステップをさらに含み、その個人情報が前記求人情報の条件に整合するユーザが選抜される
15 請求の範囲 8 に記載の方法。

12. 前記選択された広告の関連情報へ前記ネットワークを介してアクセスするステップをさらに含み、その関連情報に着目して前記ユーザが選抜される請求の範囲 8 に記載の方法。

20

13. 前記告知するステップは、前記目的時刻が月単位で表現されていれば前記スケジュールの該当する月の表示の中に、前記目的時刻が週単位で表現されていれば前記スケジュールの該当する週の表示の中に、前記目的時刻が日単位で表現されていれば前記スケジュールの該当する日の表示の中に、それぞれ前記広告
25 を組み込む請求の範囲 1 に記載の方法。

14. ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信方法であって、
前記ネットワークを介してユーザの前記スケジュールを受信するステップと、
前記ネットワークを介して求人情報を受信するステップと、

前記求人情報の目的時刻を判定するステップと、
前記スケジュールと前記求人情報を前記目的時刻によって関連づけて前記ユーザに告知するステップと、
を含むことを特徴とするスケジュール通信方法。

5

15. 前記求人情報は予め選抜されたユーザのみが受信可能に構成される請求の範囲14に記載の方法。

16. そのスケジュールが前記求人情報の目的時刻に整合するユーザが選抜される請求の範囲15に記載の方法。

10

17. 前記ネットワークを介して前記ユーザが個人情報を送信するステップをさらに含み、その個人情報が前記求人情報の条件に整合するユーザが選抜される請求の範囲15に記載の方法。

15

18. 当該方法は前記ネットワークを介して広告を受信するステップをさらに含み、

前記判定するステップはさらに、前記広告の目的時刻を判定し、

前記告知するステップはさらに、前記スケジュールと前記広告を前記目的時刻

20 によって関連づけて前記ユーザに告知する請求の範囲14に記載の方法。

19. ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信方法であって、

前記ネットワークを介してユーザに前記スケジュールを送信するステップと、
前記ユーザの嗜好に沿う広告を選択するステップと、

25 前記選択された広告に、当該広告を前記スケジュールの中に組み込むための目的時刻を付加して前記ユーザに送信するステップと、

を含むことを特徴とするスケジュール通信方法。

20. 前記送信された広告の数に応じた課金情報を生成するステップをさらに

含む請求の範囲 1 9 に記載の方法。

2 1. 前記ネットワークを介して求人情報を送信するステップをさらに含む請求の範囲 1 9 に記載の方法。

5

2 2. 前記求人情報を送付すべきユーザを予め選抜するステップをさらに含む請求の範囲 2 1 に記載の方法。

10 2 3. 前記ユーザのスケジュールを登録するステップをさらに含む請求の範囲 1 9 に記載の方法。

2 4. 前記送信された求人情報の数に応じた課金情報を生成するステップをさらに含む請求の範囲 2 1 に記載の方法。

15 2 5. 前記選択するステップは、前記ユーザの嗜好に沿う広告を選択することに代えて、前記広告に嗜好が適するユーザを選択し、
前記選択されたユーザに前記広告が送信されることを特徴とする請求の範囲 1 9 に記載の方法。

20 2 6. 前記選択されたユーザの数に応じた課金情報を生成するステップをさらに含む請求の範囲 2 5 に記載の方法。

25 2 7. ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信方法であって、
前記ネットワークを介してユーザに前記スケジュールを送信するステップと、
前記ユーザに送信すべき求人情報を選択するステップと、
前記選択された求人情報に、当該求人情報と前記スケジュールとを関連づけるための目的時刻を付加して前記ユーザに送信するステップと、
を含むことを特徴とするスケジュール通信方法。

28. 前記求人情報を送信すべきユーザを予め選抜するステップをさらに含む請求の範囲27に記載の方法。

29. 前記スケジュールと関連づけられるべき広告を取得するステップをさらに含み、

前記求人情報を送信するステップはさらに、前記ネットワークを介して前記広告を送信する請求の範囲27に記載の方法。

30. サーバとユーザ側であるクライアントを含むネットワークシステムにおけるスケジュールの通信方法であって、

前記サーバが前記ユーザにスケジュールを送信するステップと、

前記ユーザ側にて前記スケジュールを受信するステップと、

前記サーバが前記ユーザの嗜好に沿う広告を選択するステップと、

前記サーバが前記選択した広告を前記ユーザに送信するステップと、

15 前記ユーザ側にて前記広告の目的時刻を判定するステップと、

前記ユーザ側にて前記スケジュールの中に前記目的時刻に沿って前記広告を組み込んで前記ユーザに告知するステップと、

を含むことを特徴とするスケジュール通信方法。

20 31. サーバとユーザ側であるクライアントを含むネットワークシステムにおけるスケジュールの通信方法であって、

前記サーバが前記ユーザにスケジュールを送信するステップと、

前記ユーザ側にて前記スケジュールを受信するステップと、

前記サーバが前記ユーザに送信すべき求人情報を選択するステップと、

25 前記サーバが前記選択した求人情報を前記ユーザに送信するステップと、

前記ユーザ側にて前記求人情報を受信するステップと、

前記ユーザ側にて前記求人情報の目的時刻を判定するステップと、

前記ユーザ側にて前記スケジュールと前記求人情報を前記目的時刻によって関連づけて前記ユーザに告知するステップと、

を含むことを特徴とするスケジュール通信方法。

3 2. ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信装置であって、

前記ネットワークを介してユーザの前記スケジュールを取得するユニットと、

5 前記ネットワークを介して前記ユーザの嗜好に沿うものとして選択された広告
を取得するユニットと、

前記広告の目的時刻を判定するユニットと、

前記スケジュールの中に前記目的時刻に沿って前記広告を組み込んで前記ユー
ザに告知するための告知制御ユニットと、

10 を含むことを特徴とするスケジュール通信装置。

3 3. 前記スケジュールを取得するユニット、前記広告を取得するユニットの
少なくとも一方は、タイマーの設定により定期的に取得処理を行う請求項 3 2 に
記載の装置。

15

3 4. 前記ユーザが個人情報を入力するユニットをさらに含み、その個人情報
をもとに前記広告が選択される請求の範囲 3 2、3 3 のいずれかに記載の装置。

3 5. 前記ネットワークを介して求人情報を取得するユニットをさらに含む請
20 求の範囲 3 3 に記載の装置。

3 6. 前記求人情報は予め選抜されたユーザのみが受信可能に構成される請求
の範囲 3 5 に記載の装置。

25 3 7. 前記告知制御ユニットはカレンダー表示部を含み、このカレンダー表示部は、
前記目的時刻が月単位で表現されていれば前記スケジュールの該当する月の表
示の中に前記広告を組み込む月表示部と、

前記目的時刻が週単位で表現されていれば前記スケジュールの該当する週の表
示の中に前記広告を組み込む週表示部と、

前記目的時刻が日単位で表現されていれば前記スケジュールの該当する日の表示の中に前記広告を組み込む日表示部と、
を含む請求の範囲 3 2 に記載の装置。

- 5 3 8. 前記ユーザのスケジュールを登録するユニットをさらに含む請求の範囲 3 2 に記載の装置。

- 3 9. ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信装置であって、
前記ネットワークを介してユーザの前記スケジュールを取得するユニットと、
10 前記ネットワークを介して求人情報を取得するユニットと、
前記求人情報の目的時刻を判定するユニットと、
前記スケジュールと前記求人情報を前記目的時刻によって関連づけて前記ユーザに告知するための告知制御ユニットと、
を含むことを特徴とするスケジュール通信装置。

15

- 4 0. 前記求人情報は予め選抜されたユーザのみが受信可能に構成される請求の範囲 3 9 に記載の装置。

- 4 1. ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信装置であって、
20 前記ネットワークを介してユーザに送信すべき前記スケジュールを読み出すスケジュール管理ユニットと、
前記ユーザの嗜好に沿う広告を選択する探索ユニットと、
前記選択された広告に、当該広告を前記スケジュールの中に組み込むための目的時刻を付加して前記ユーザに送信するためのデータを生成するユニットと、
25 を含むことを特徴とするスケジュール通信装置。

- 4 2. 前記選択された広告の関連情報へ前記ユーザがアクセスするための処理を行う関連情報指示ユニットをさらに含む請求の範囲 4 1 に記載の装置。

4 3. 前記関連情報指示ユニットは、前記アクセスされた関連情報の内容を判定するユニットを有し、

その内容をもとに前記広告が選択される請求の範囲 4 2 に記載の装置。

5 4 4. 前記関連情報指示ユニットは、前記関連情報のアクセス回数を計数するユニットを有し、

その回数をもとに前記広告が選択される請求の範囲 4 2 に記載の装置。

4 5. 前記データを生成するユニットはさらに、前記ネットワークを介して求
10 人情報を送信するためのデータを生成する請求の範囲 4 1 に記載の装置。

4 6. 前記探索ユニットは、前記求人情報を送付すべきユーザを選抜する求人条件マッチング判定部を含む請求の範囲 4 5 に記載の装置。

15 4 7. 前記求人条件マッチング判定部は、ユーザのスケジュールと前記求人情報の目的時刻を比較するユーザスケジュール判定部を含む請求の範囲 4 6 に記載の装置。

4 8. 前記ユーザスケジュール判定部は、前記求人情報の目的時刻にスケジュールが入っていないユーザを選抜する請求の範囲 4 7 に記載の装置。
20

4 9. 前記ネットワークを介して前記ユーザの個人情報を取得するユニットをさらに含み、

前記求人条件マッチング判定部は、その個人情報が前記求人情報の条件に整合
25 するユーザを選抜する請求の範囲 4 6 に記載の装置。

5 0. 前記求人条件マッチング判定部は、前記求人情報に含まれるスキル条件を満たすユーザを選抜するユーザスキル判定部を含む請求の範囲 4 9 に記載の装置。

5 1. 前記求人条件マッチング判定部は、前記求人情報が示すジャンルにその嗜好が適合するユーザを選抜するユーザ嗜好判定部を含む請求の範囲 4 9 に記載の装置。

5

5 2. 前記探索ユニットの処理に応じた課金情報を生成する課金管理ユニットをさらに含む請求の範囲 4 1 に記載の装置。

5 3. 前記探索ユニットは、前記ユーザの嗜好に沿う広告を選択することに代えて、前記広告に嗜好が適するユーザを選択し、

10

前記選択されたユーザのために前記データが生成されることを特徴とする請求の範囲 4 1 に記載の装置。

5 4. 前記探索ユニットによって選択されたユーザの数に応じた課金情報を生成する課金管理ユニットをさらに含む請求の範囲 5 3 に記載の装置。

15

5 5. ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信装置であって、

前記ネットワークを介してユーザに送信すべき前記スケジュールを読み出すスケジュール管理ユニットと、

20 前記ユーザに送信すべき求人情報を選択する探索ユニットと、

前記選択された求人情報に、当該求人情報と前記スケジュールとを関連づけるための目的時刻を付加して前記ユーザに送信するためのデータを生成するユニットと、

を含むことを特徴とするスケジュール通信装置。

25

5 6. 当該装置は、前記スケジュールと関連づけられるべき広告を取得するユニットをさらに含み、

前記データを生成するユニットはさらに、前記広告を含むよう前記データを生成する請求の範囲 5 5 に記載の装置。

57. サーバ側システムとユーザ側であるクライアントを含むネットワークシステムにおけるスケジュールの通信システムであって、

前記サーバ側システムは、

- 5 前記ユーザに前記スケジュールを送信するユニットと、
前記ユーザの嗜好に沿う広告を選択するユニットと、
前記選択した広告を前記ユーザに送信するユニットと、

を含み、

前記クライアントは、

- 10 前記スケジュールを受信するユニットと、
前記広告を受信するユニットと、
前記広告の目的時刻を判定するユニットと、
前記スケジュールの中に前記目的時刻に沿って前記広告を組み込んで前記ユーザに告知するための告知制御ユニットと、
15 を含むことを特徴とするスケジュール通信システム。

58. 前記サーバ側システムは、

前記クライアントとの通信をインターネットにて行うフロントサーバであるWWWサーバと、

- 20 前記クライアントとの通信の内容に応じて前記スケジュールおよび前記広告を抽出して前記WWWサーバに引き渡す広告サーバと、
を含むことを特徴とする請求の範囲57に記載のスケジュール通信システム。

59. サーバとユーザ側であるクライアントを含むネットワークシステムにおけるスケジュールの通信システムであって、

前記サーバ側システムは、

- 25 前記ユーザに前記スケジュールを送信するユニットと、
前記ユーザに送信すべき求人情報を選択するユニットと、
前記選択した求人情報を前記ユーザに送信するユニットと、

を含み、

前記クライアントは、

前記スケジュールを受信するユニットと、

前記求人情報を受信するユニットと、

5 前記求人情報の目的時刻を判定するユニットと、

前記スケジュールと前記求人情報を前記目的時刻によって関連づけて前記ユーザに告知するための告知制御ユニットと、

を含むことを特徴とするスケジュール通信システム。

10 60. 前記サーバ側システムは、

前記クライアントとの通信をインターネットにて行うフロントサーバであるWWWサーバーと、

前記クライアントとの通信の内容に応じて前記スケジュールおよび前記求人情報を抽出して前記WWWサーバーに引き渡す広告サーバーと、

15 を含むことを特徴とする請求の範囲59に記載のスケジュール通信システム。

61. ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信方法をコンピュータにて実行可能なプログラムとして記録した媒体であって、

前記ネットワークを介してユーザの前記スケジュールを受信するステップと、

20 前記ネットワークを介して前記ユーザの嗜好に沿うものとして選択された広告を受信するステップと、

前記広告の目的時刻を判定するステップと、

前記スケジュールの中に前記目的時刻に沿って前記広告を組み込んで前記ユーザに告知するステップと、

25 を含むプログラムを記録したことを特徴とする記録媒体。

62. ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信方法をコンピュータにて実行可能なプログラムとして記録した媒体であって、

前記ネットワークを介してユーザの前記スケジュールを受信するステップと、

前記ネットワークを介して求人情報を受信するステップと、
前記求人情報の目的時刻を判定するステップと、
前記スケジュールと前記求人情報を前記目的時刻によって関連づけて前記ユーザに告知するステップと、
5 を含むプログラムを記録したことを特徴とする記録媒体。

6 3. そのスケジュールが前記求人情報の目的時刻に整合しないユーザが選抜された上で、そのユーザのスケジュールが前記求人情報よりも優先的に把握される状態で前記求人情報が前記ユーザに告知される請求の範囲 8 に記載の方法。

10

6 4. 前記個人情報、前記ユーザが興味をもつ情報を示すキーワードの形で送信される請求の範囲 4 に記載の方法。

6 5. 前記個人情報、前記ユーザが興味をもつ情報を示すキーワードの形で
15 受信される請求の範囲 1 7 に記載の方法。

6 6. 前記キーワードにヒットする広告が送信されたとき、そのヒットの程度に応じた課金情報が生成される請求の範囲 6 5 に記載の方法。

20 6 7. 前記ネットワークを介して労働力提供情報を送信するステップをさらに含み、当該情報が前記ネットワークシステムに参加する企業へ転送される請求の範囲 1 に記載の方法。

6 8. 前記選択された広告の関連情報を前記ネットワークを介して電子メール
25 の形で受信するステップをさらに含む請求の範囲 1 に記載の方法。

6 9. 前記求人情報の関連情報を前記ネットワークを介して電子メールの形で受信するステップをさらに含む請求の範囲 1 4 に記載の方法。

70. 前記スケジュールの中に組み込むべき広告の数の上限を予め設定するステップをさらに含み、その上限に達したとき、それ以上の広告の告知が中止または中断される請求の範囲1に記載の方法。

- 5 71 前記スケジュールに関連づけるべき求人情報の数の上限を予め設定するステップをさらに含み、その上限に達したとき、それ以上の求人情報の関連づけが中止または中断される請求の範囲14に記載の方法。

- 10 72. 前記ユーザまたは他所定の人のいる場所を検出するステップをさらに含み、その場所を示す情報がその場所にいた時刻に関連づけられて前記スケジュールの表示の中へ組み込まれる請求の範囲1に記載の方法。

73. 時間の経過とともに刻々変化する情報を前記スケジュールに組み込んでユーザに告知するステップをさらに含む請求の範囲1に記載の方法。

15

74. 前記刻々変化する情報は前記スケジュールのカレンダー表示の中に組み込まれて表示されるとともに、当該情報を提供するスポンサーが当該情報の近傍に表示される請求の範囲73に記載の方法。

- 20 75. 前記目的時刻が主体的な要因に基づいて定められた請求の範囲1に記載の方法。

76. 前記ユーザのスケジュールが比較的空いている日時を検出するステップと、

- 25 その日時を前記目的時刻に設定するステップと、
をさらに含む請求の範囲1に記載の方法。

77. ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信方法であって、
前記ネットワークを介してユーザの前記スケジュールを受信するステップと、

前記ネットワークを介して、セグメント化された情報のタイトルを受信するステップと、

前記タイトルの目的時刻を判定するステップと、

前記スケジュールの中に前記目的時刻に沿って前記タイトルを組み込んで前記

5 ユーザに告知するステップと、

を含むことを特徴とするスケジュール通信方法。

78. ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信方法であって、

前記ネットワークを介してユーザに前記スケジュールを送信するステップと、

10 セグメント化された情報のタイトルを選択するステップと、

前記選択されたタイトルに、当該タイトルを前記スケジュールの中に組み込むための目的時刻を付加して前記ユーザに送信するステップと、

を含むことを特徴とするスケジュール通信方法。

15 79. サーバとユーザ側であるクライアントを含むネットワークシステムにおけるスケジュールの通信方法であって、

前記サーバが前記ユーザにスケジュールを送信するステップと、

前記ユーザ側にて前記スケジュールを受信するステップと、

前記サーバがセグメント化された情報のタイトルを選択するステップと、

20 前記サーバが前記選択したタイトルを前記ユーザに送信するステップと、

前記ユーザ側にて前記タイトルの目的時刻を判定するステップと、

前記ユーザ側にて前記スケジュールの中に前記目的時刻に沿って前記タイトルを組み込んで前記ユーザに告知するステップと、

を含むことを特徴とするスケジュール通信方法。

25

80. 前記タイトルには前記セグメント化された情報のアイテムへの電子的なリンクが張られており、前記ユーザがそのタイトルをクリックしたとき前記情報のアイテムがオンラインで前記ユーザへ提示されることを特徴とする請求の範囲77に記載の方法。

8 1. 前記タイトルには前記セグメント化された情報のアイテムへの電子的なリンクが張られており、前記ユーザがそのタイトルをクリックしたとき前記情報のアイテムがオンラインで前記ユーザへ提示されることを特徴とする請求の範囲

5 7 8に記載の方法。

8 2. 前記タイトルには前記セグメント化された情報のアイテムへの電子的なリンクが張られており、前記ユーザがそのタイトルをクリックしたとき前記情報のアイテムがオンラインで前記ユーザへ提示されることを特徴とする請求の範囲

10 7 9に記載の方法。

8 3. 前記電子的なリンクの先には、前記情報のアイテムを集約してユーザへ提供する集約ポイントが形成されていることを特徴とする請求の範囲 8 0に記載の方法。

15

8 4. 前記電子的なリンクの先には、前記情報のアイテムを集約してユーザへ提供する集約ポイントが形成されていることを特徴とする請求の範囲 8 1に記載の方法。

20 8 5. 前記電子的なリンクの先には、前記情報のアイテムを集約してユーザへ提供する集約ポイントが形成されていることを特徴とする請求の範囲 8 2に記載の方法。

8 6. サーバとユーザ側であるクライアントを含むネットワークシステムにおけるスケジュールの通信システムであって、

25

前記サーバ側システムは、

前記ユーザに前記スケジュールを送信するユニットと、

前記ユーザに送信すべき、セグメント化された情報のタイトルを選択するユニットと、

前記選択したタイトルを前記ユーザに送信するユニットと、
を含み、

前記クライアントは、

前記スケジュールを受信するユニットと、

5 前記タイトルを受信するユニットと、

前記タイトルの目的時刻を判定するユニットと、

前記スケジュールと前記タイトルを前記目的時刻によって関連づけて前記ユーザに告知するための告知制御ユニットと、

を含むことを特徴とするスケジュール通信システム。

10

87. 前記タイトルには前記セグメント化された情報のアイテムへの電子的なリンクが張られており、前記ユーザがそのタイトルをクリックしたとき前記情報のアイテムがオンラインで前記ユーザへ提示されることを特徴とする請求の範囲86に記載のシステム。

15

88. 前記電子的なリンクの先には、前記情報のアイテムを集約してユーザへ提供する集約ポイントが形成されていることを特徴とする請求の範囲87に記載のシステム。

20

89. ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信方法をコンピュータにて実行可能なプログラムとして記録した媒体であって、

前記ネットワークを介してユーザの前記スケジュールを受信するステップと、

前記ネットワークを介して、セグメント化された情報のタイトルを受信するステップと、

25

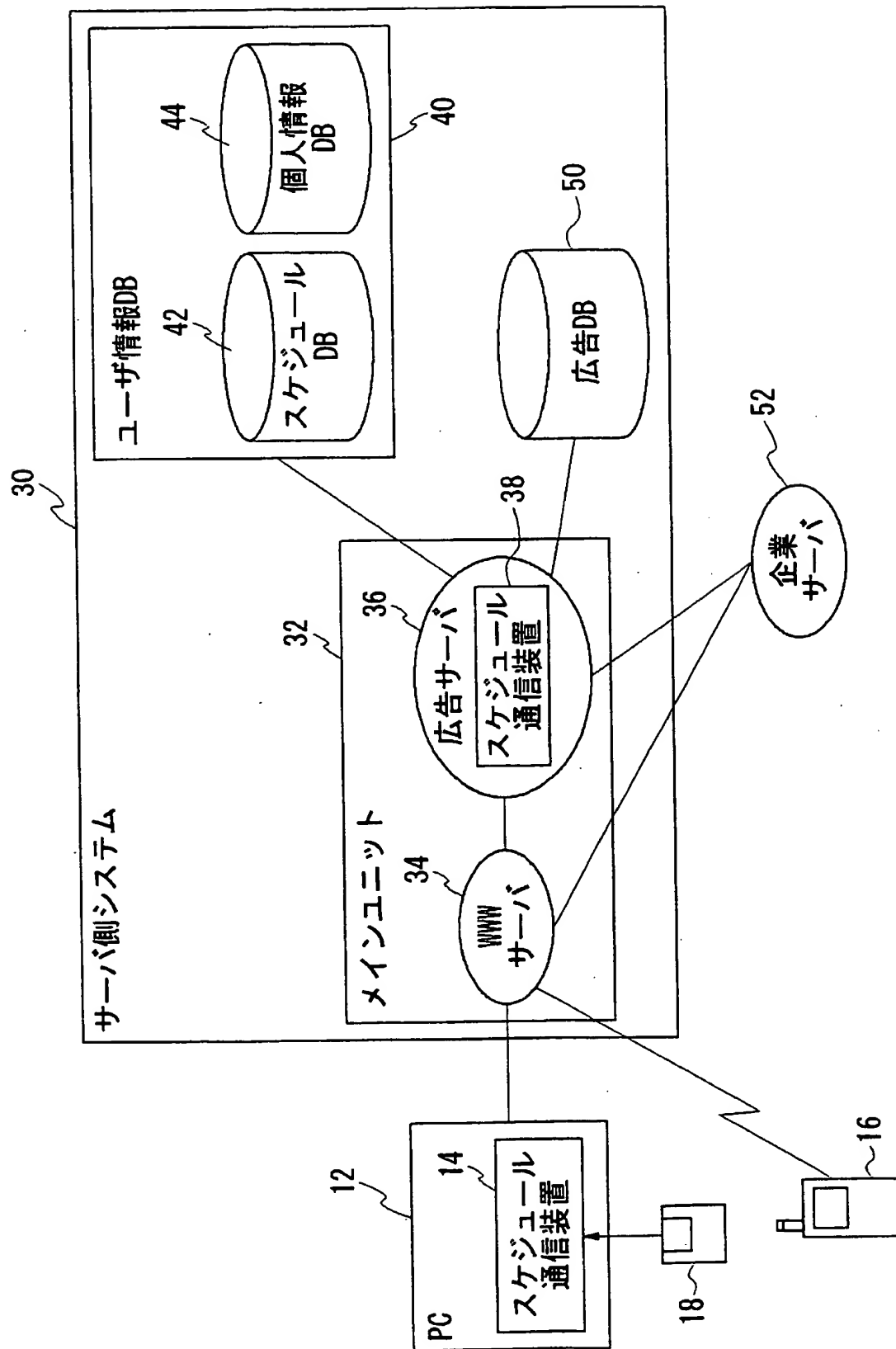
前記タイトルの目的時刻を判定するステップと、

前記スケジュールの中に前記目的時刻に沿って前記タイトルを組み込んで前記ユーザに告知するステップと、

を含むプログラムを記録したことを特徴とする記録媒体。

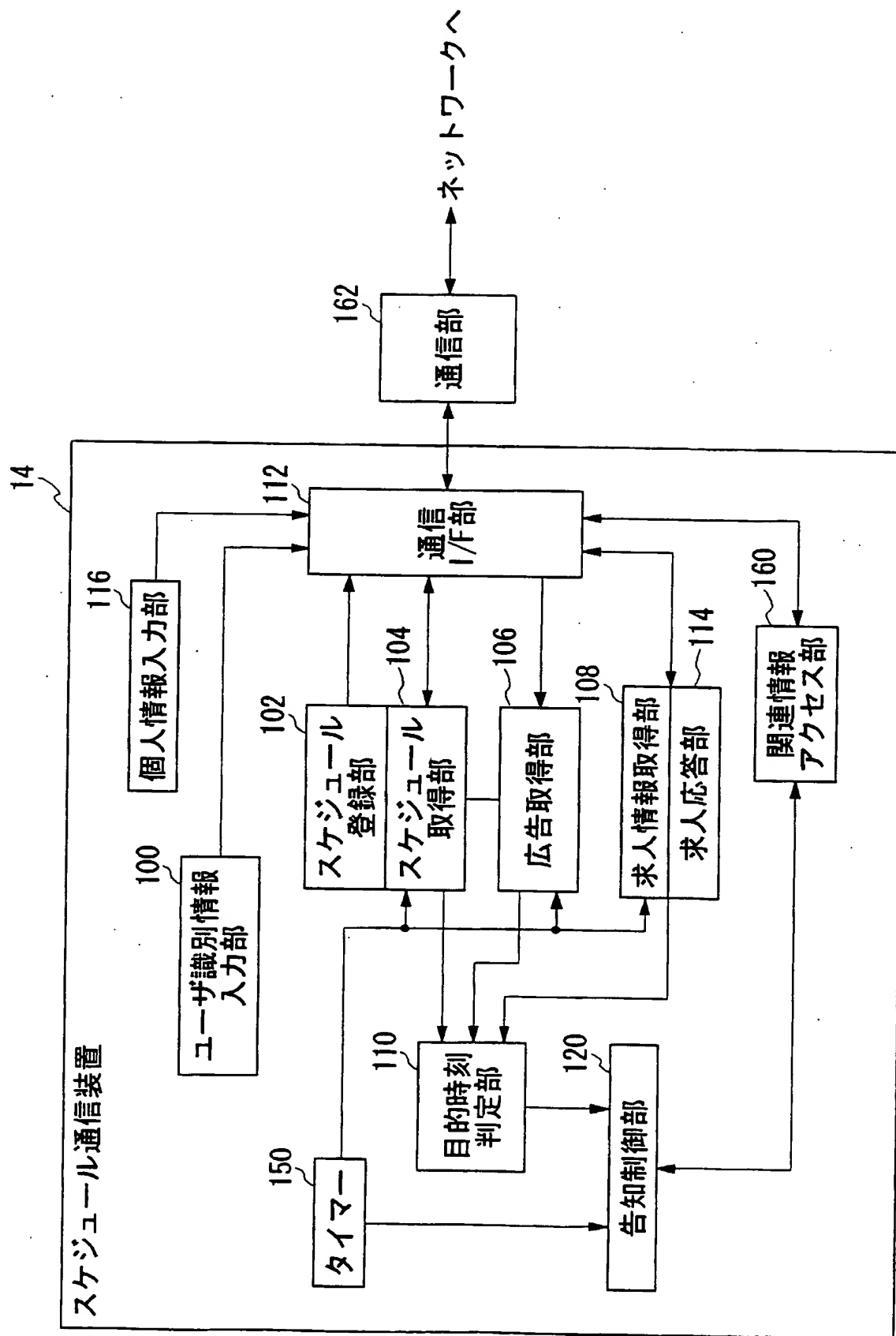
THIS PAGE BLANK (USPTO)

FIG. 1



THIS PAGE BLANK (USPTO)

FIG. 2



THIS PAGE BLANK (USPTO)

FIG. 3

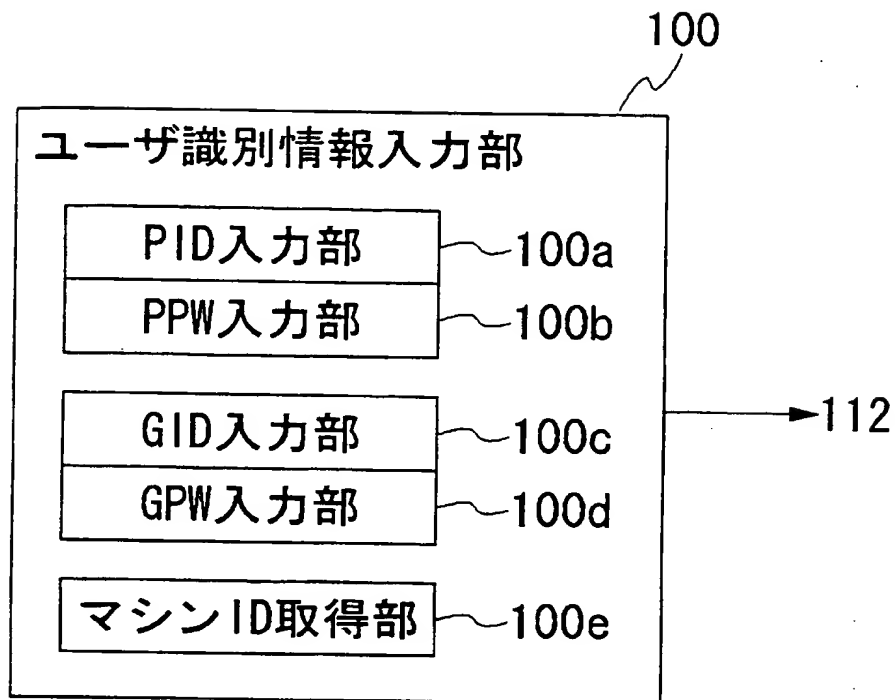


FIG. 4

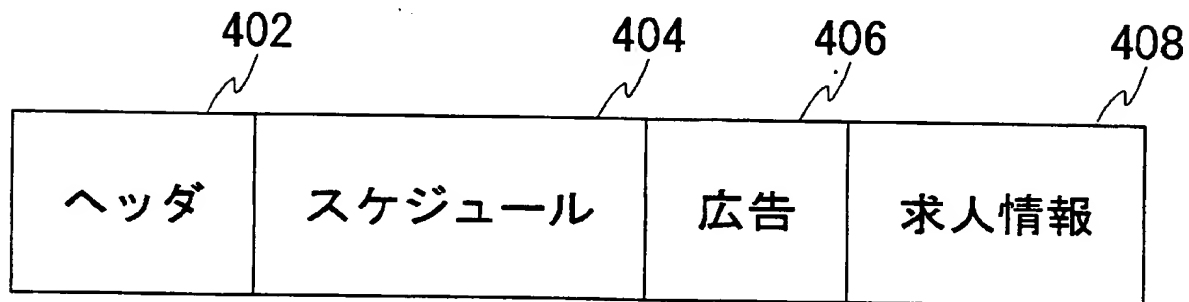
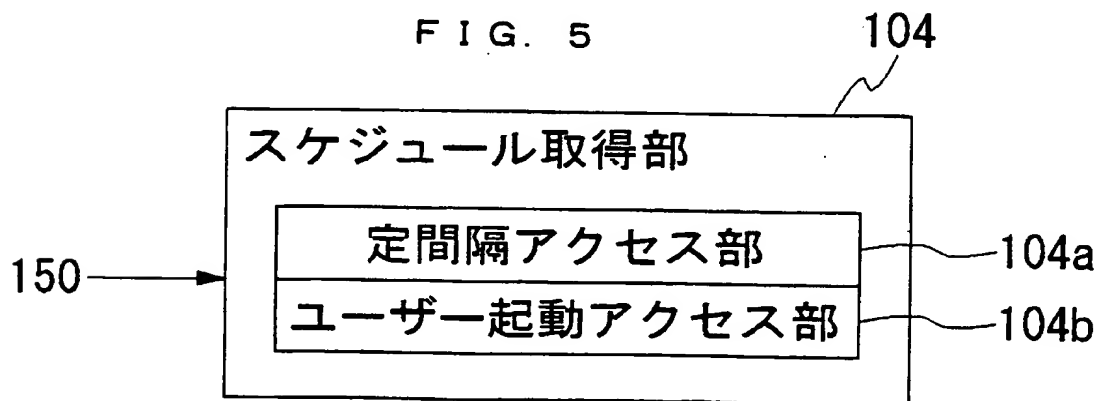
400

FIG. 5



THIS PAGE BLANK (USPTO)

FIG. 6

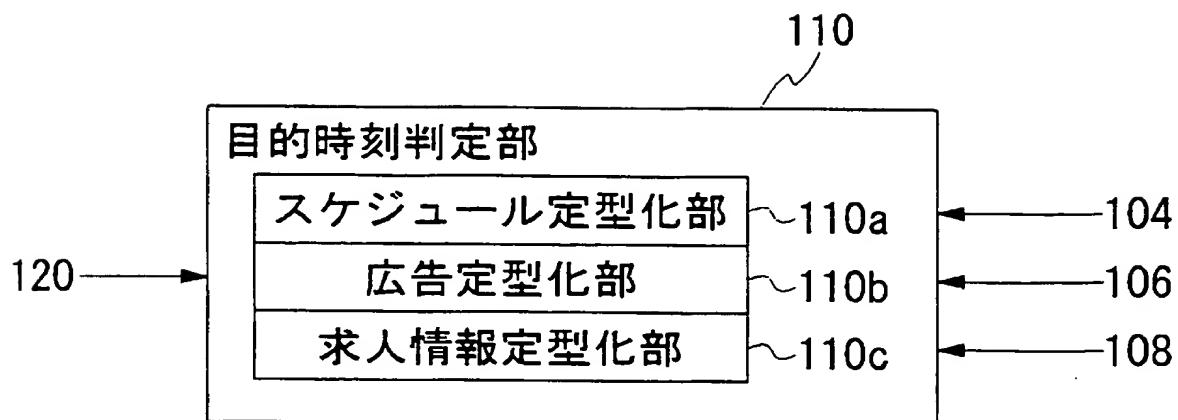
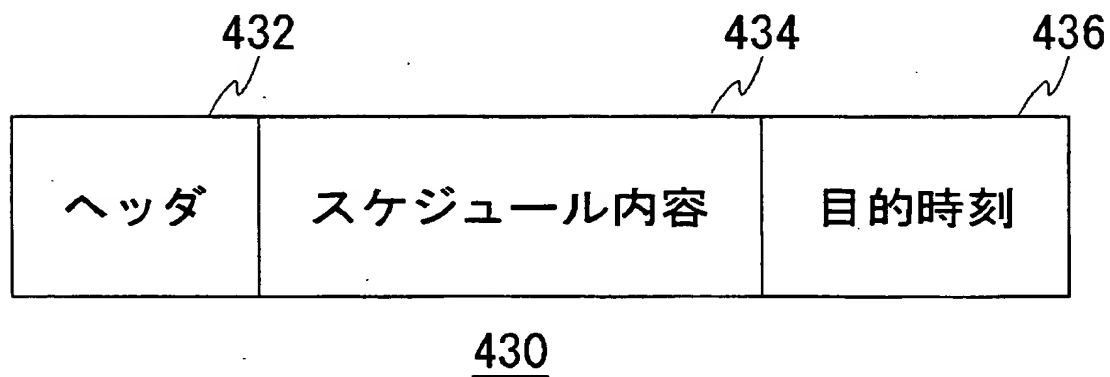
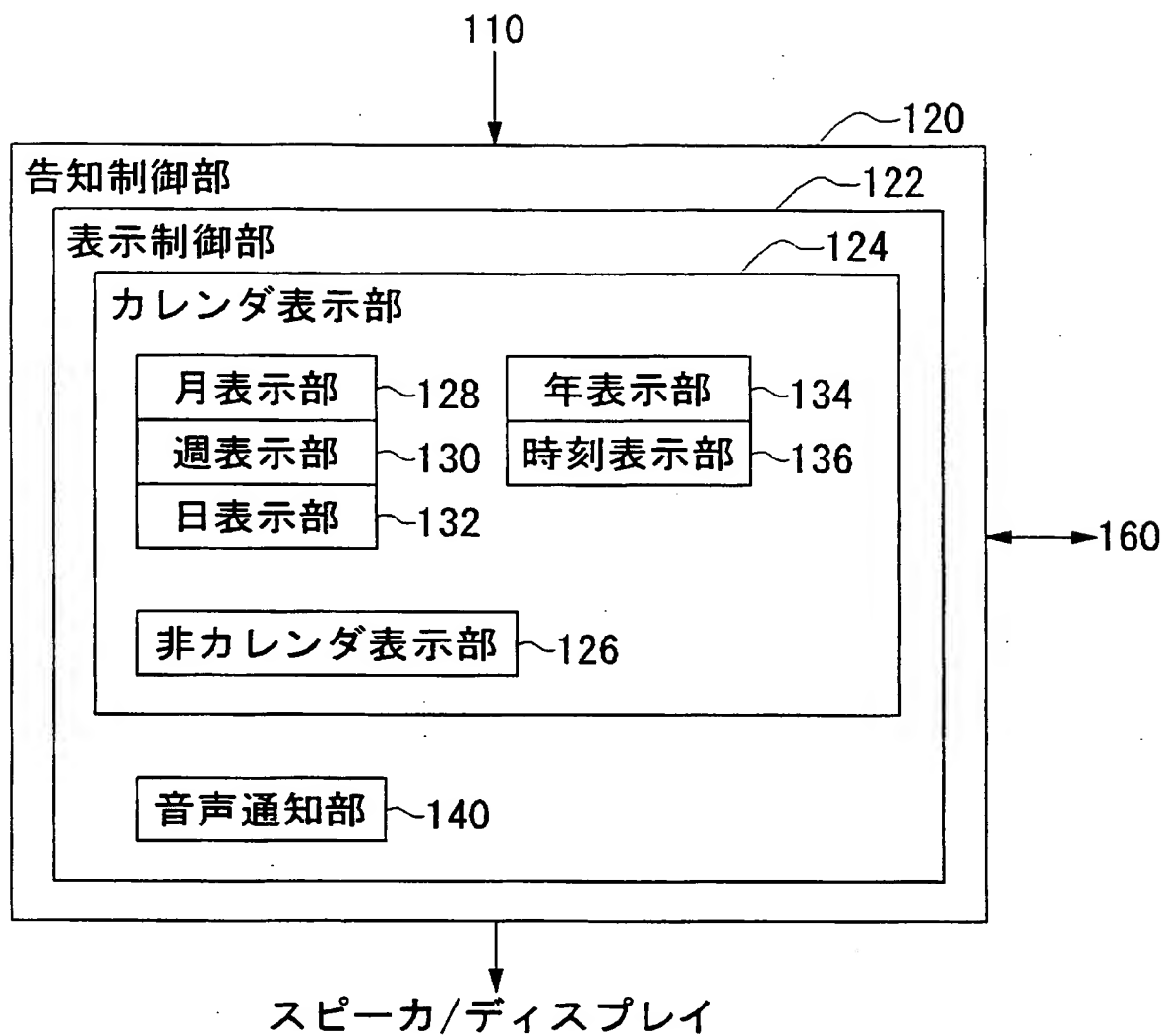


FIG. 7



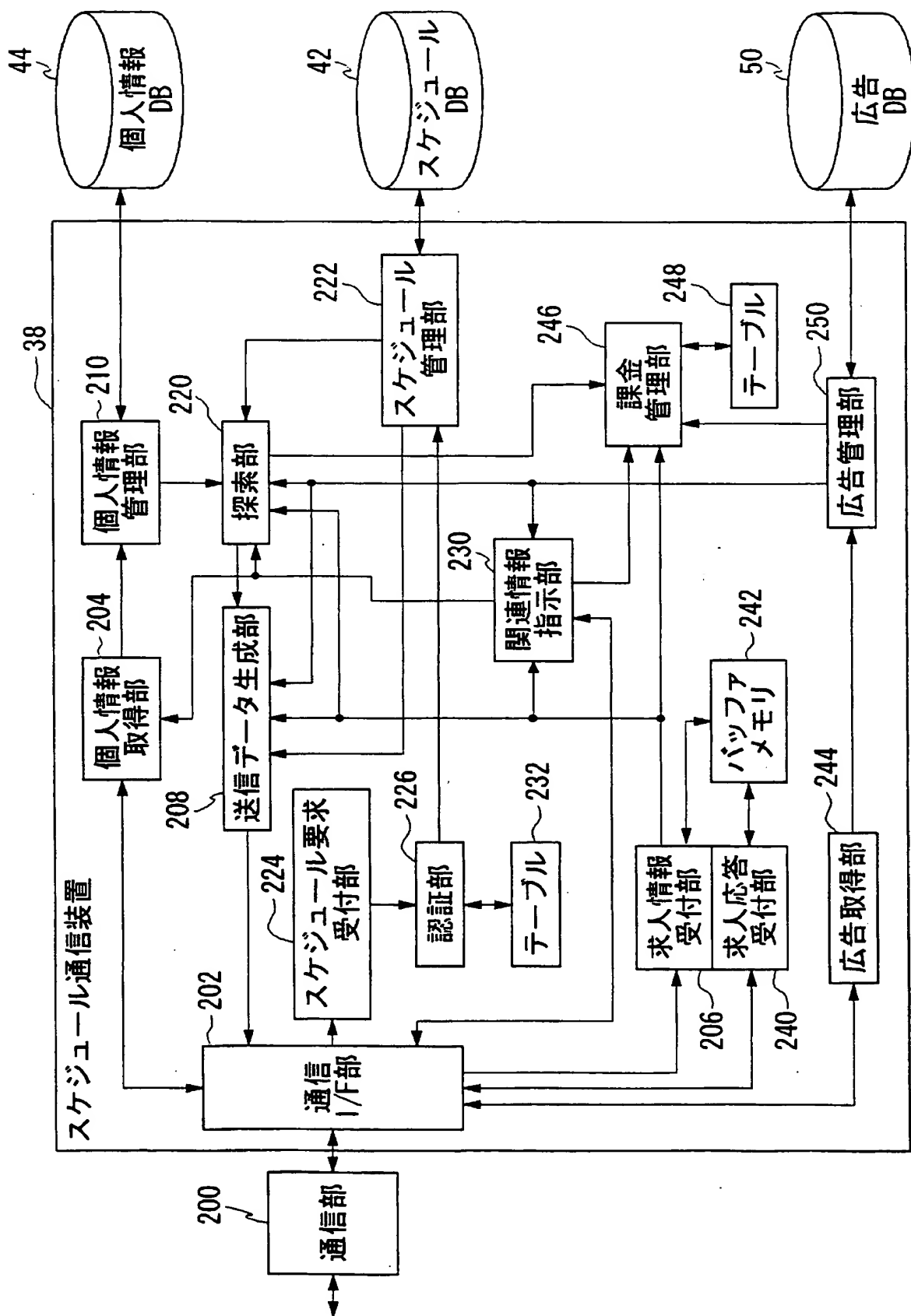
THIS PAGE BLANK (USPTO)

FIG. 8



THIS PAGE BLANK (USPTO)

FIG. 9



THIS PAGE BLANK (USPTO)

FIG. 10

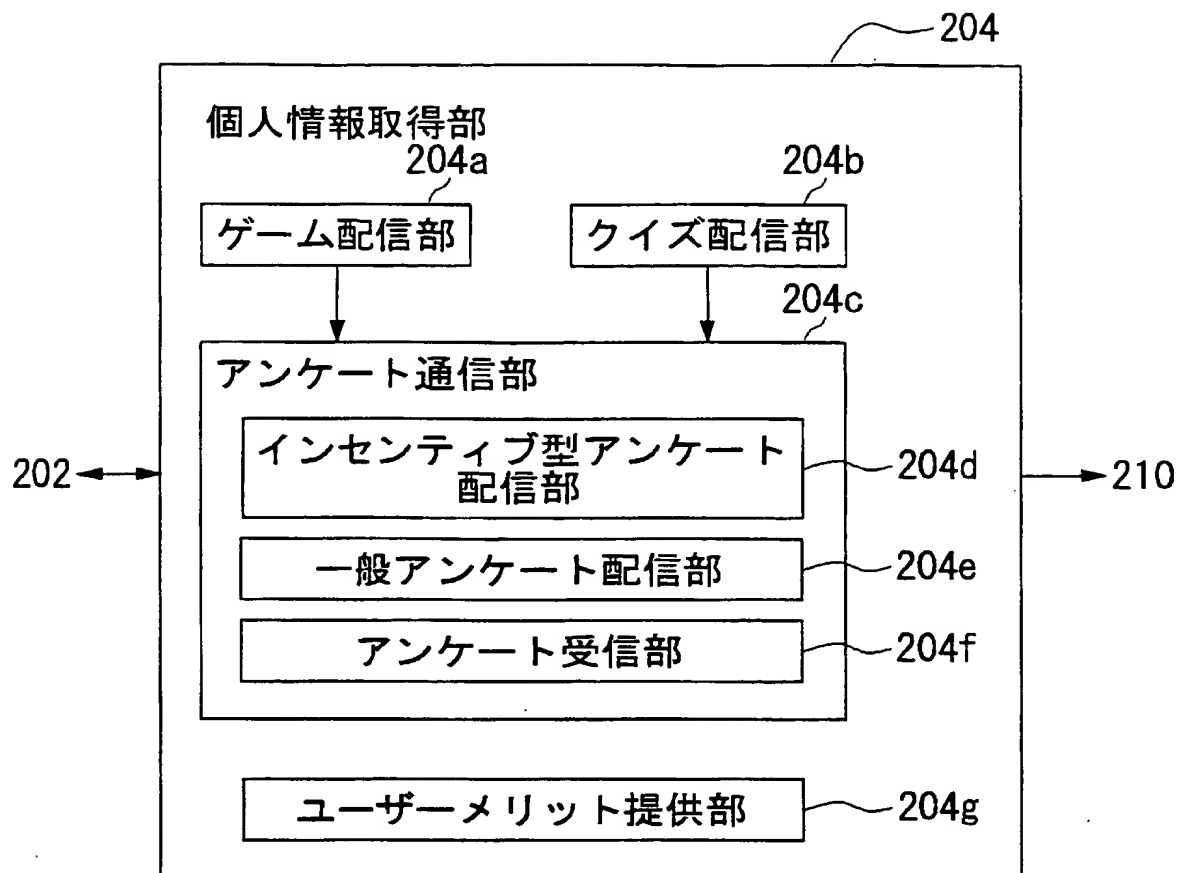
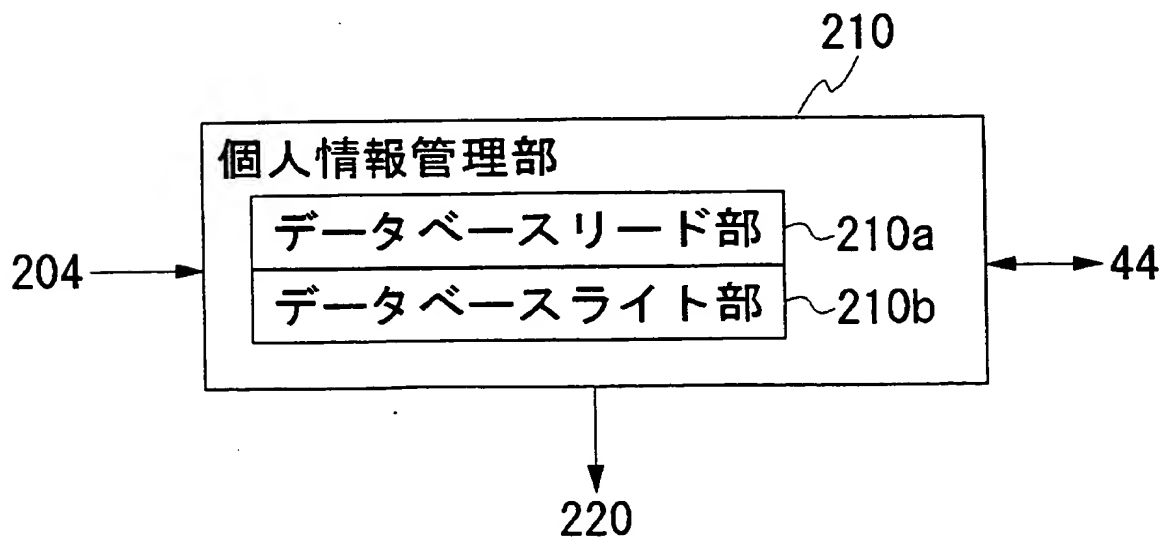


FIG. 11



THIS PAGE BLANK (USPTO)

FIG. 12

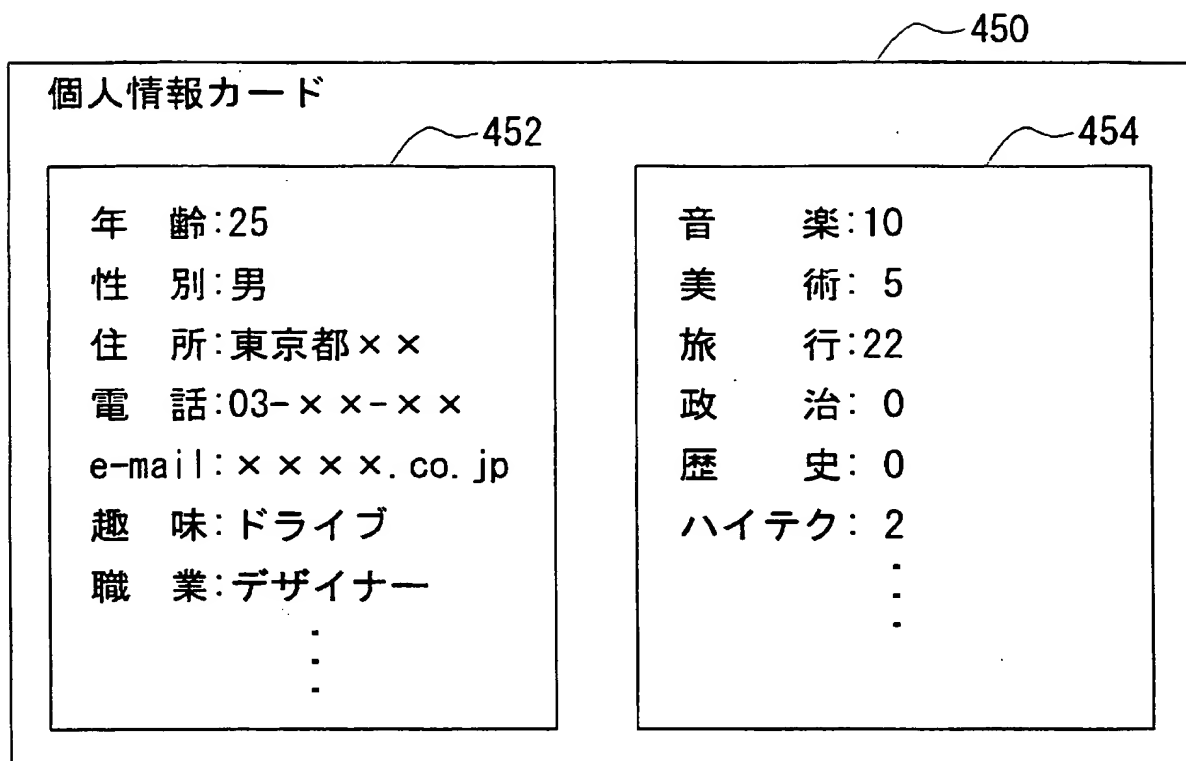
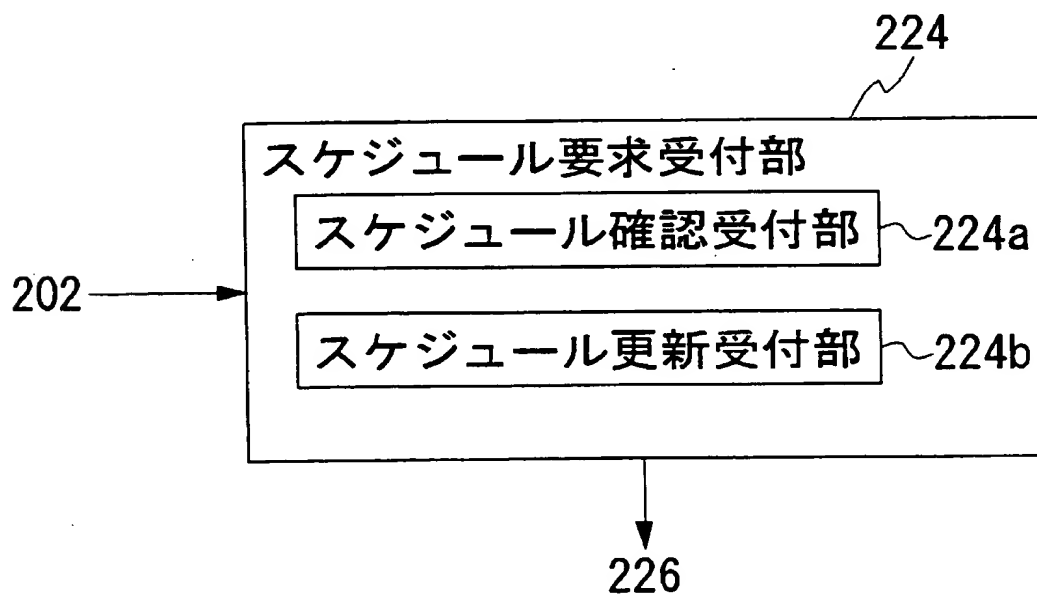
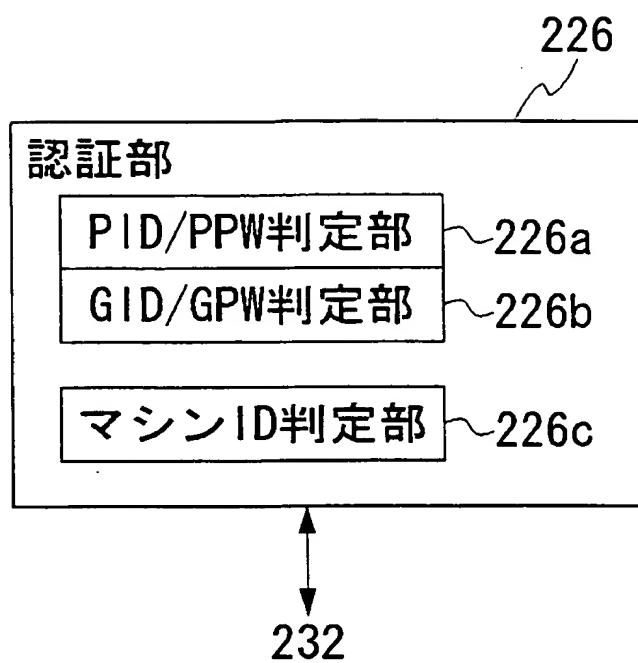


FIG. 13



THIS PAGE BLANK (USPTO)

FIG. 14



THIS PAGE BLANK (USPTO)

FIG. 15

求人情報

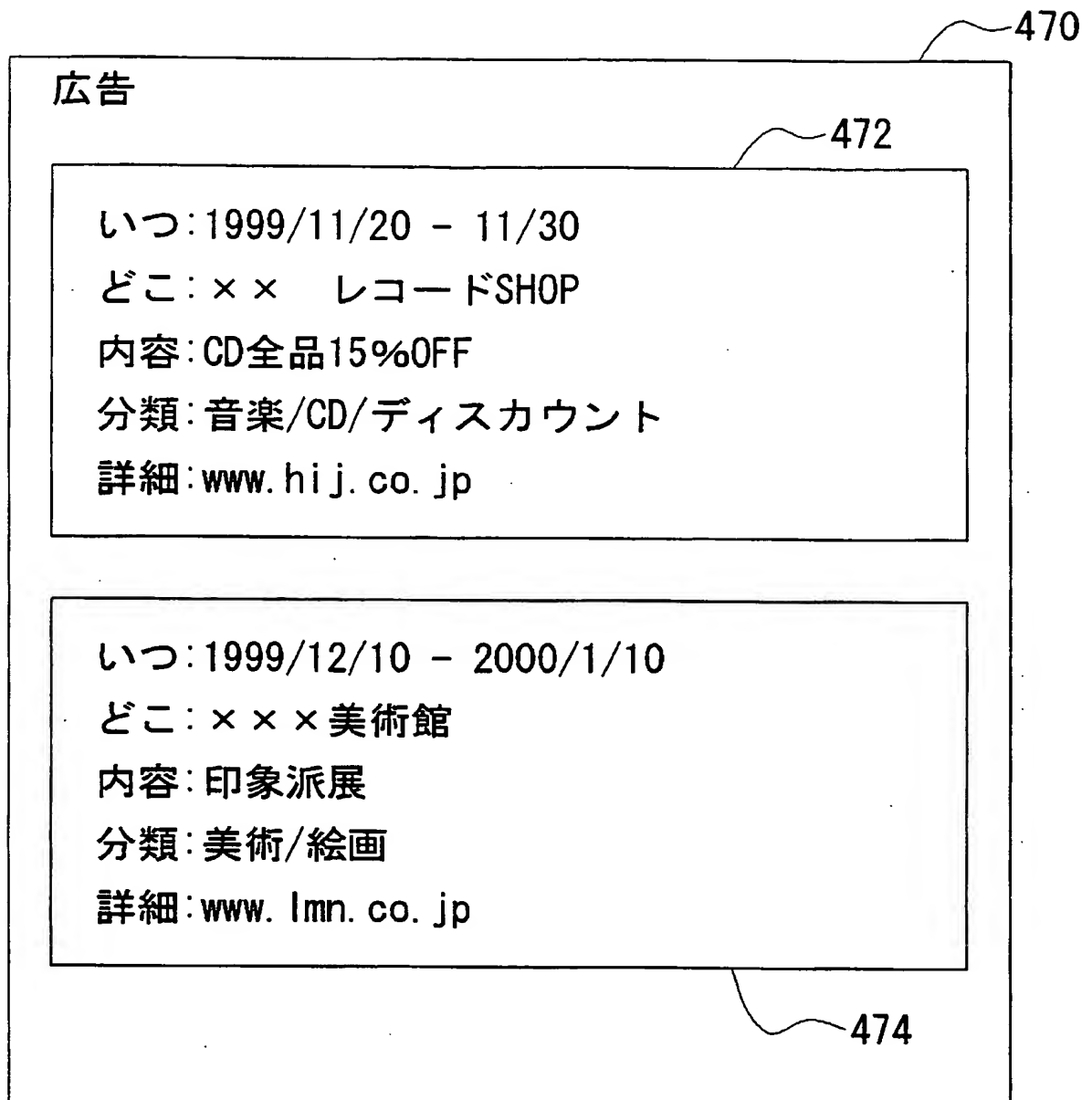
いつ:1999年11月27日 am10~pm1
どこ:×××
内容:コンサートチケット購入のための人員
給与:××××円
分類:音楽/アルバイト
詳細:www.abc.co.jp

いつ:1999年12月～
どこ:横浜市××
内容:PC設計
給与:月××万円
分類:ハイテク/PC/正社員
詳細:www.def.co.jp

⋮

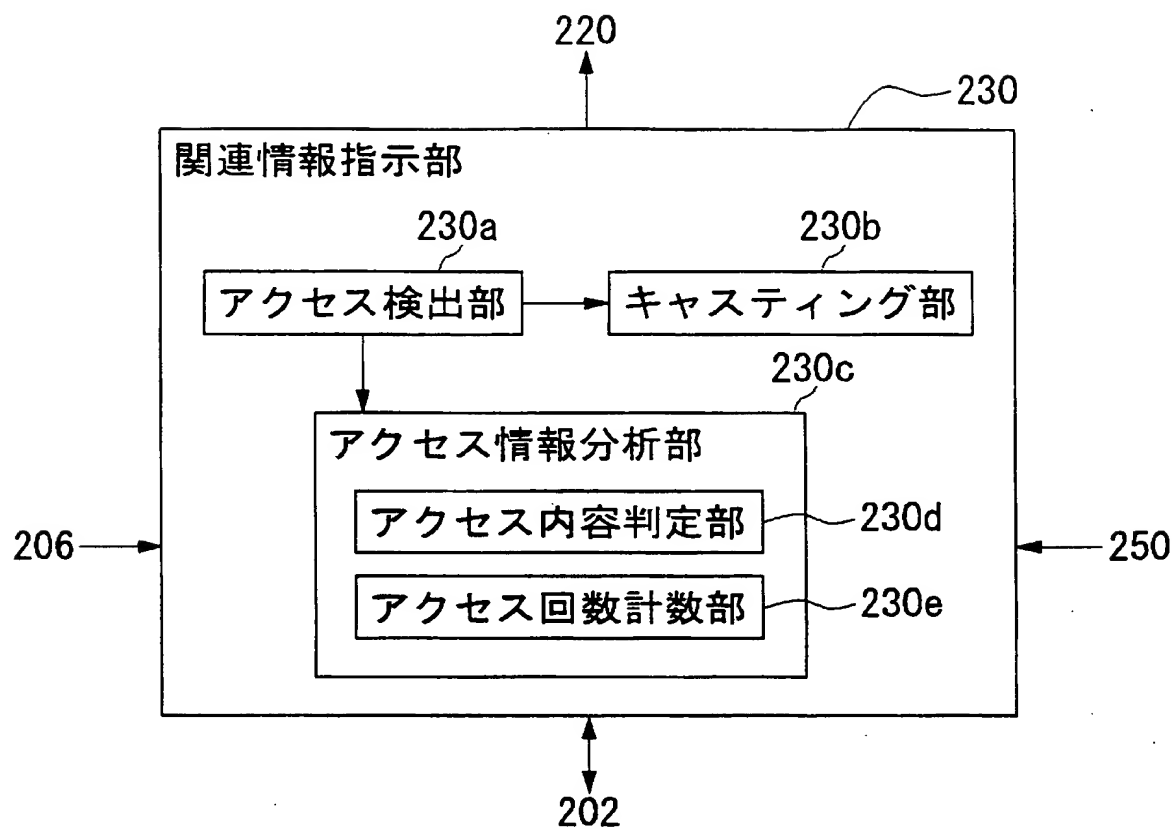
THIS PAGE BLANK (USPTO)

FIG. 16



THIS PAGE BLANK (USPTO)

FIG. 17



THIS PAGE BLANK (USPTO)

FIG. 18

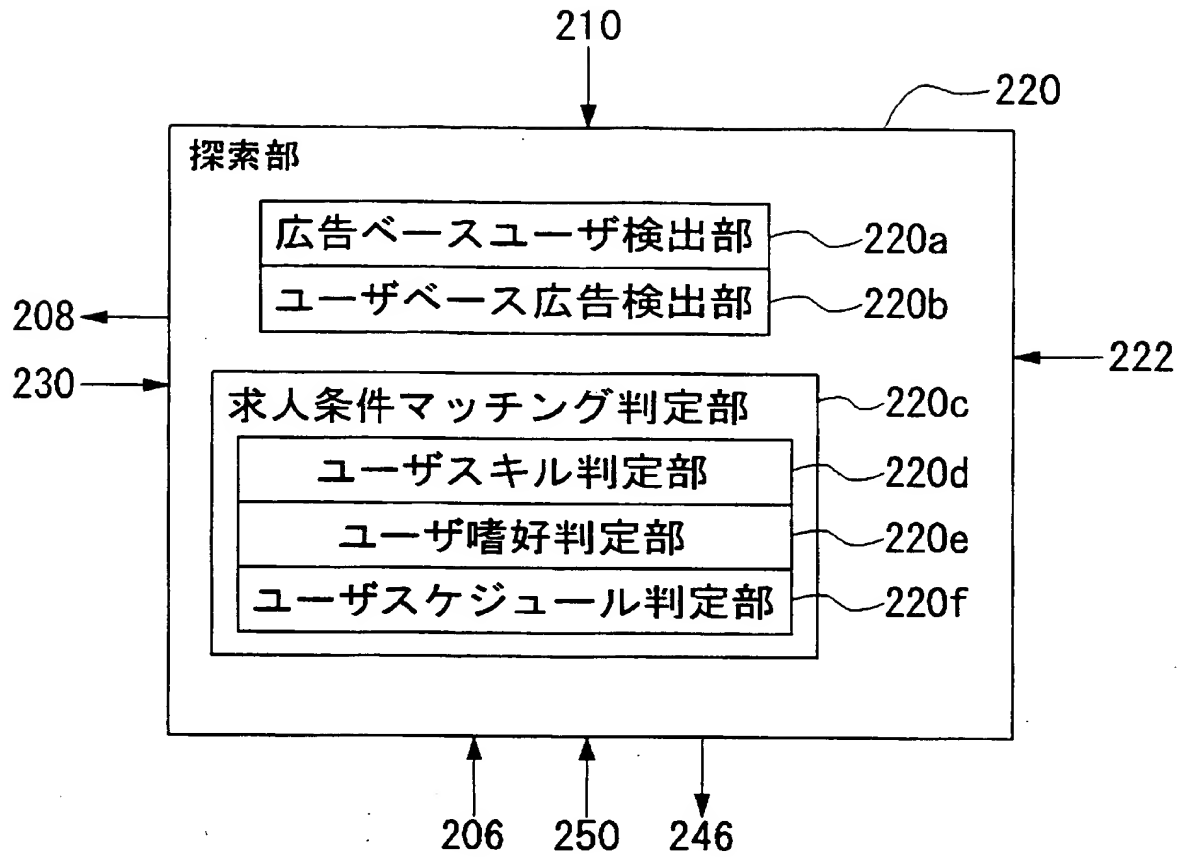
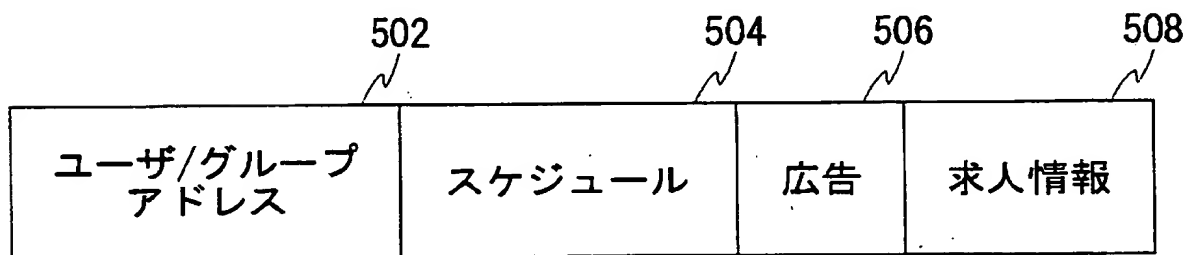
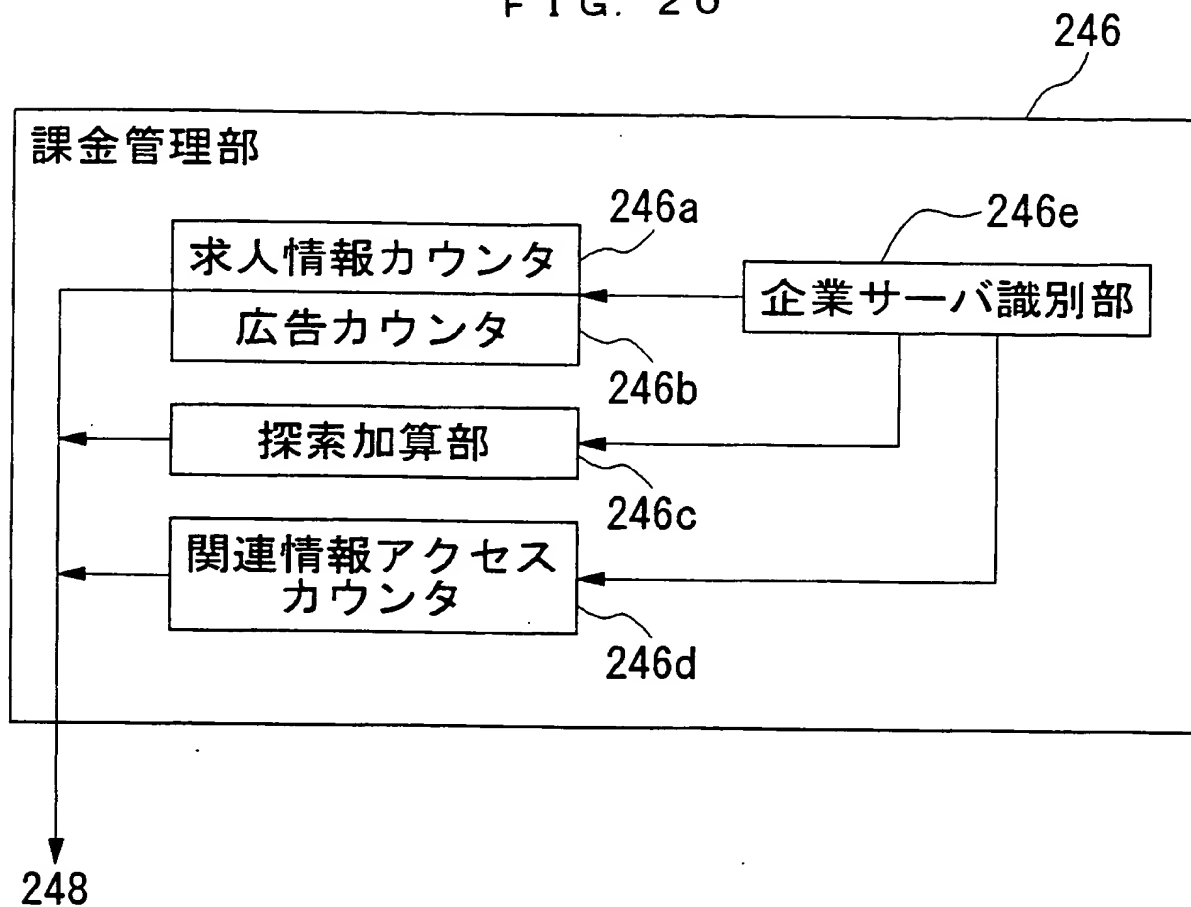


FIG. 19

500

THIS PAGE BLANK (USPTO)

FIG. 20



THIS PAGE BLANK (USPTO)

FIG. 21

300

http://www.abcdefg.co.jp

ID登録 設定 スケジュール

IDとパスワードを入力して下さい

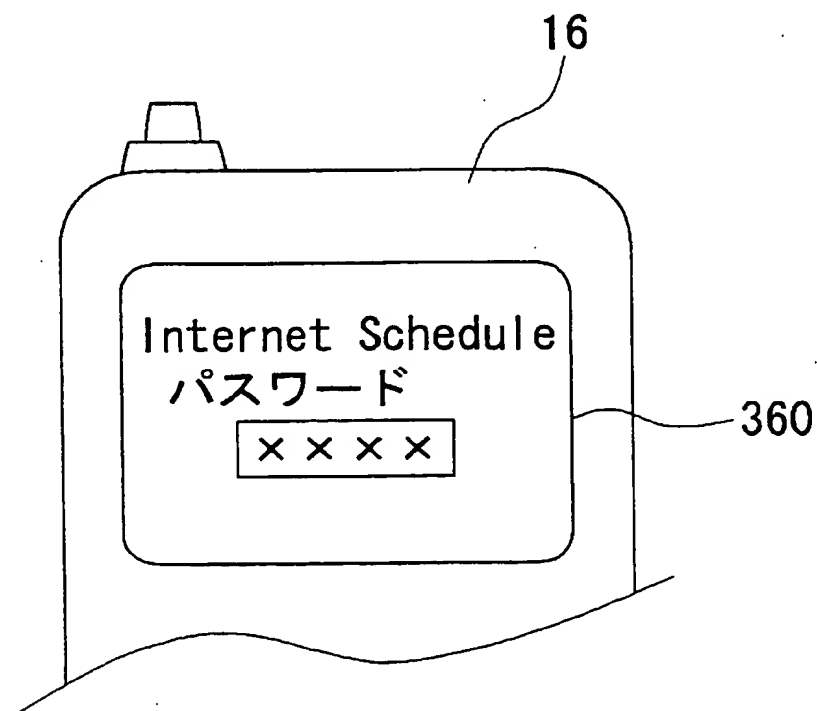
個人 グループ

PID= GID=

PPW= GPW=

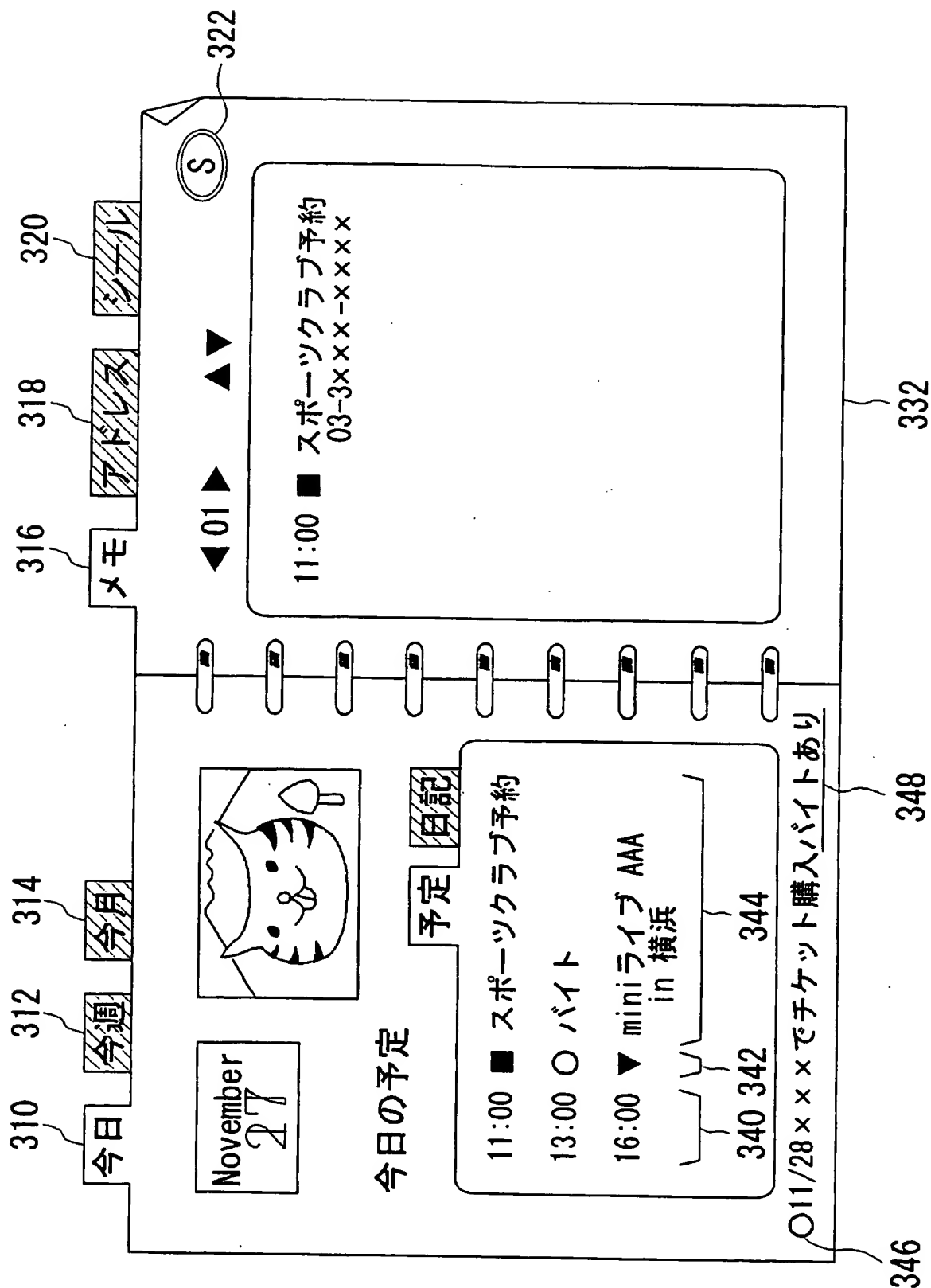
302

FIG. 22



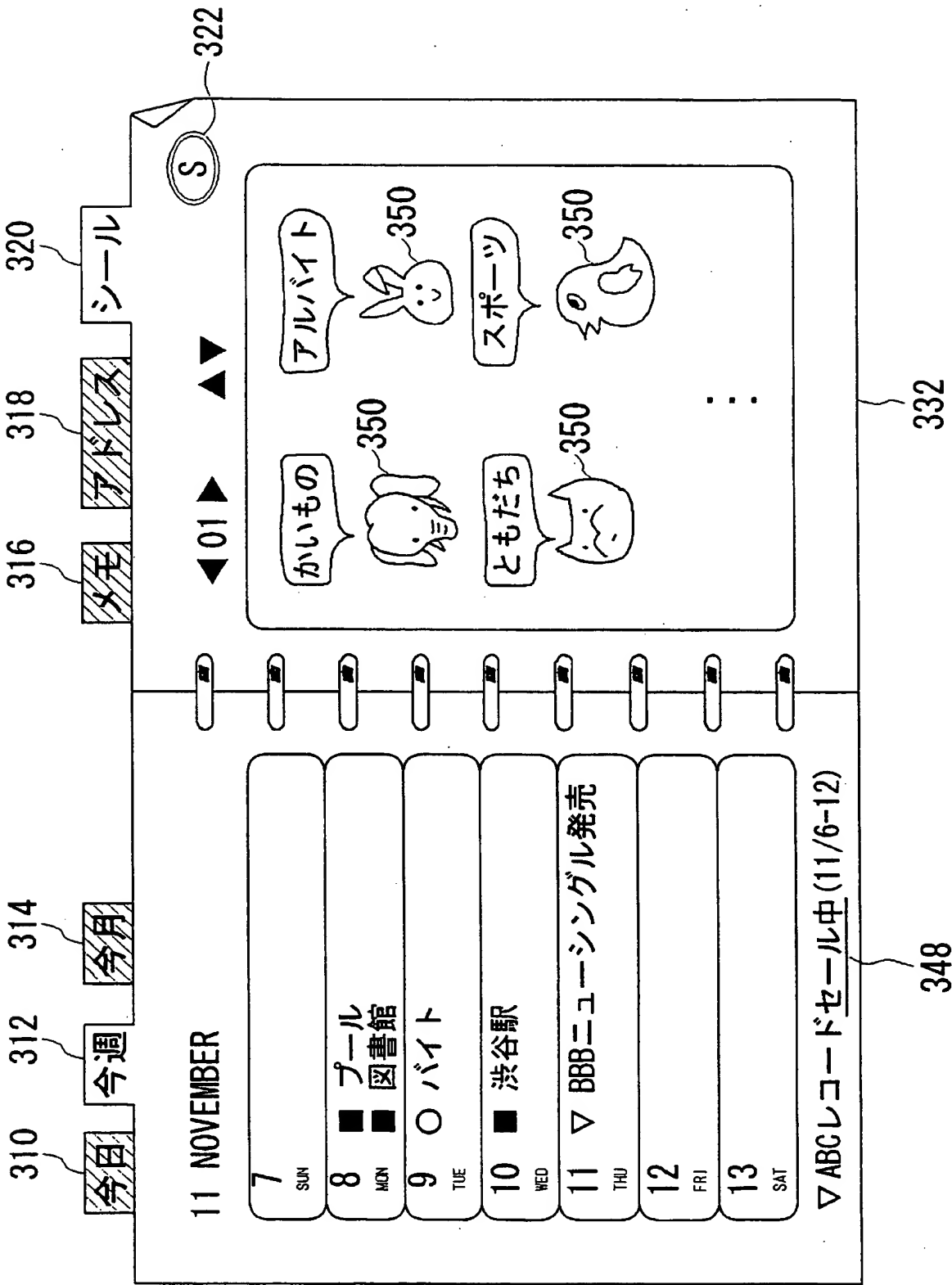
THIS PAGE BLANK (USPTO)

FIG. 23



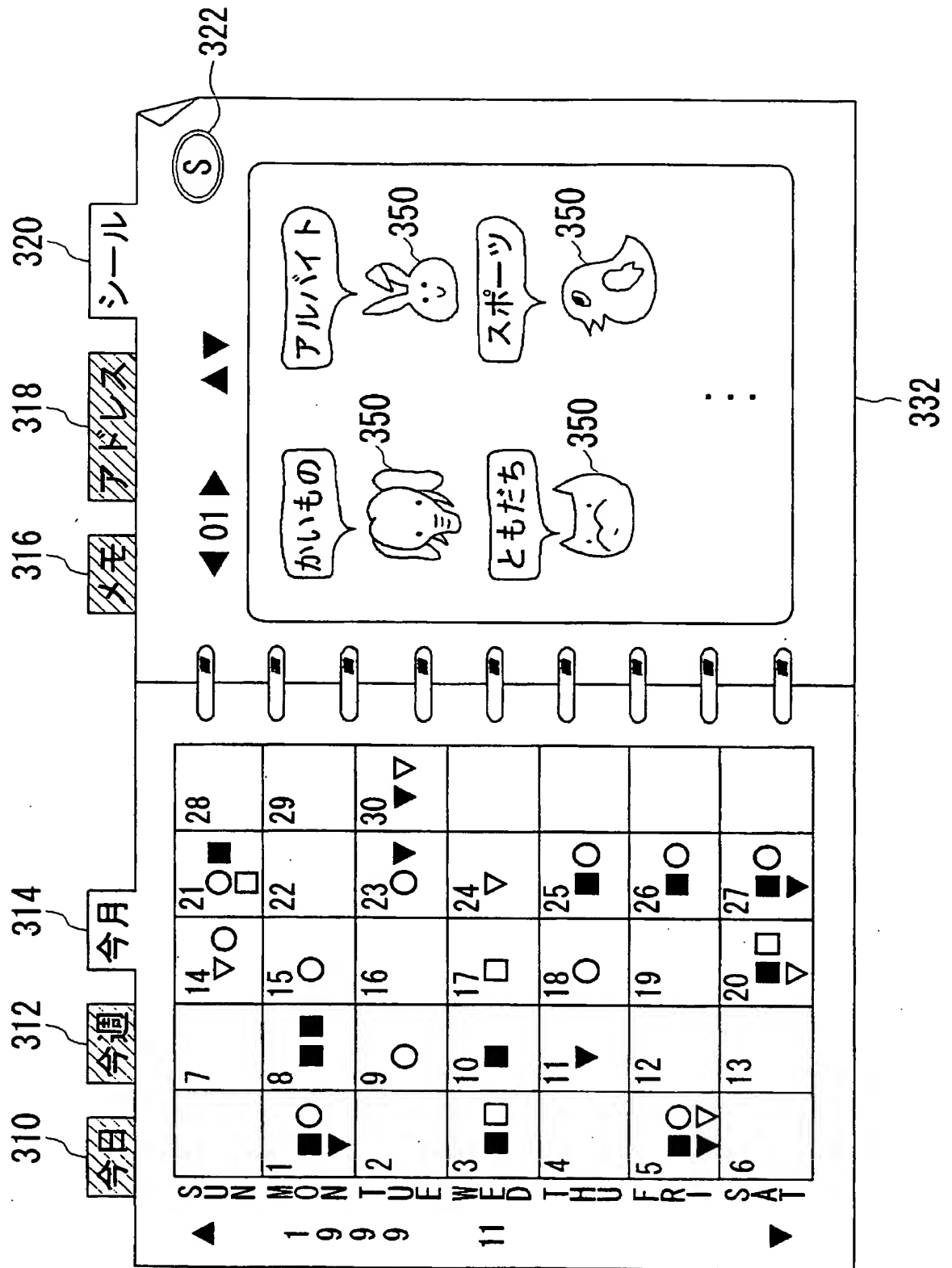
THIS PAGE BLANK (USPTO)

FIG. 24



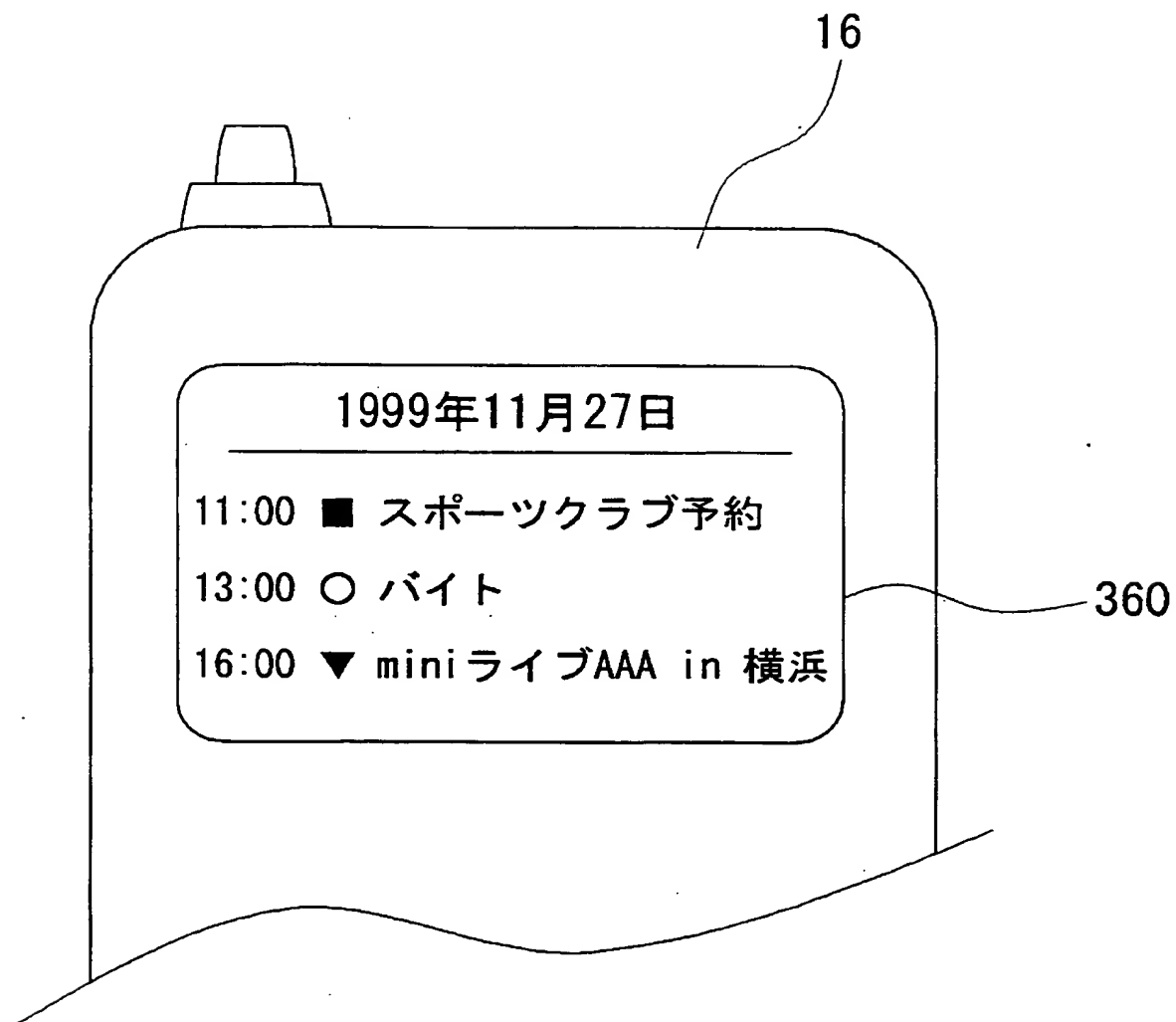
THIS PAGE BLANK (USPTO)

FIG. 25



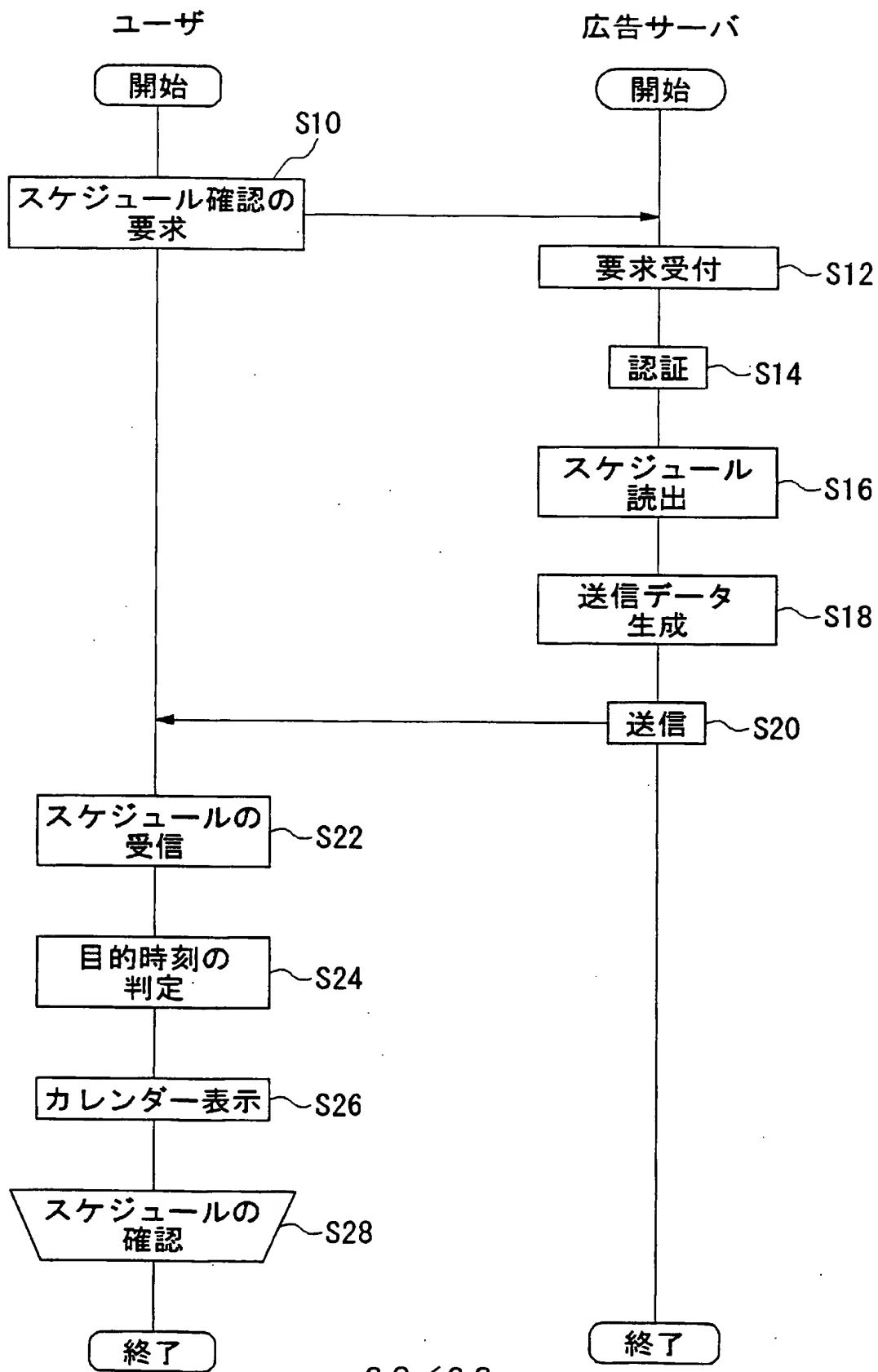
THIS PAGE BLANK (USPTO)

FIG. 26



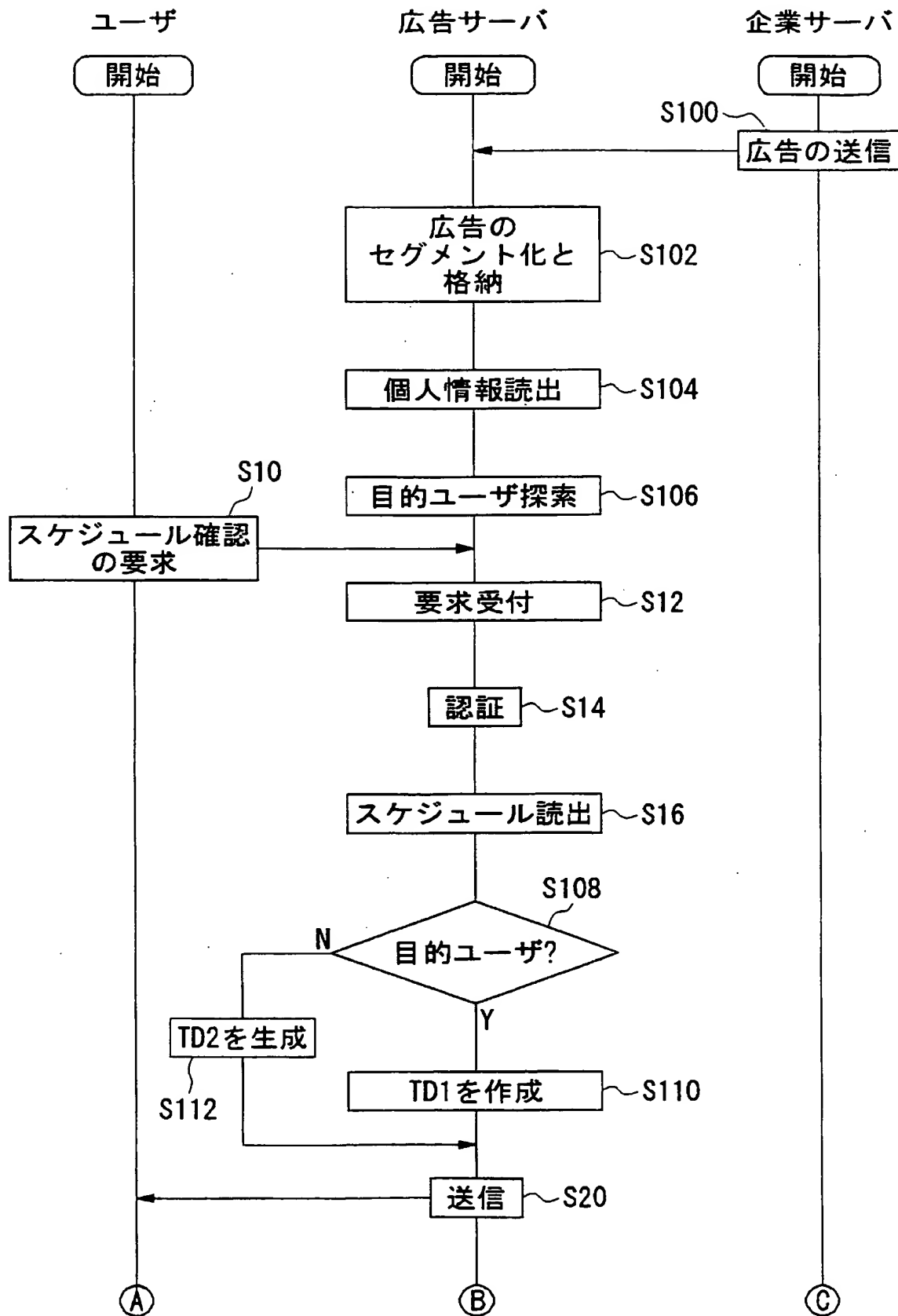
THIS PAGE BLANK (USPTO)

FIG. 27



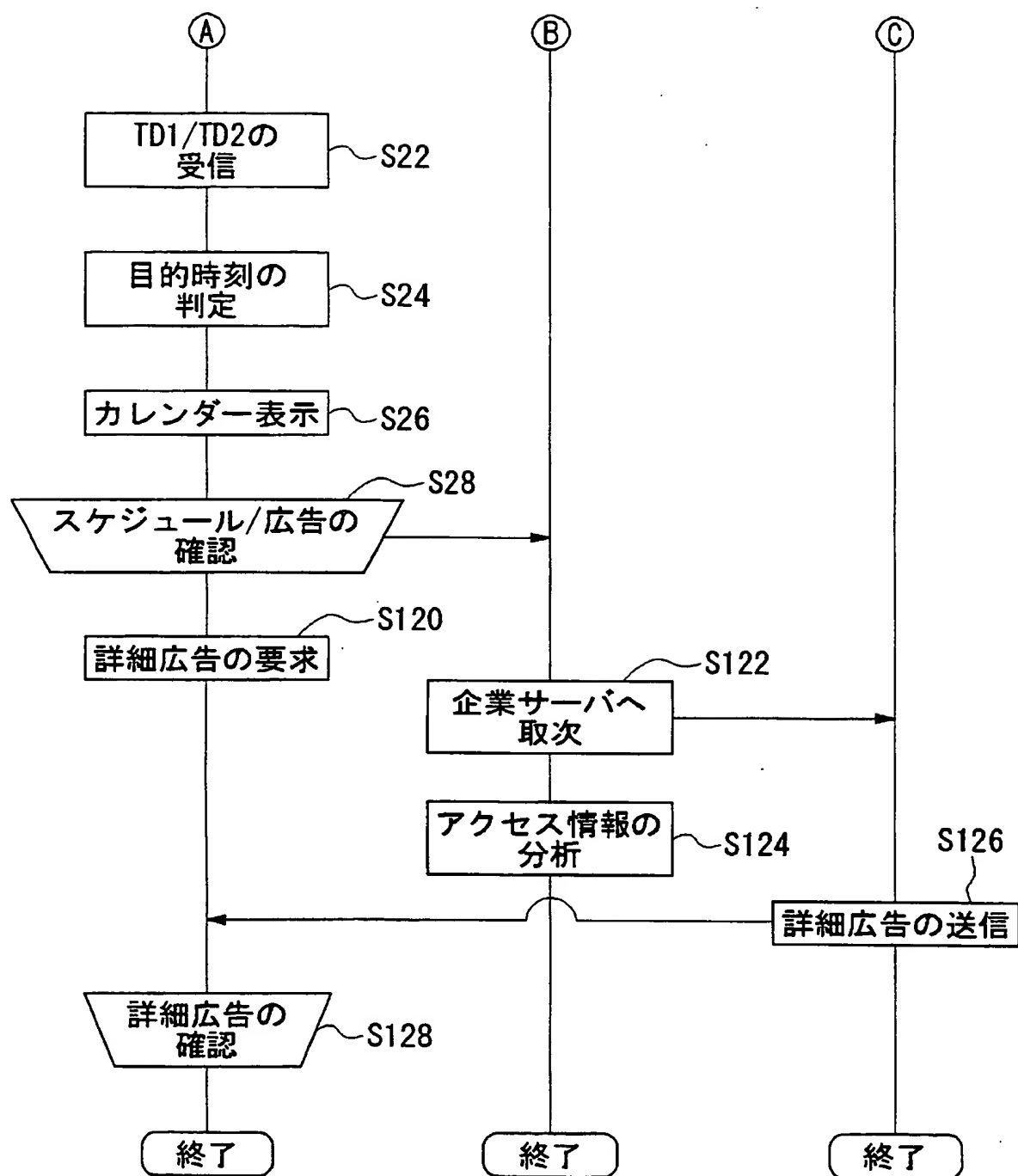
THIS PAGE BLANK (USPTO)

FIG. 28



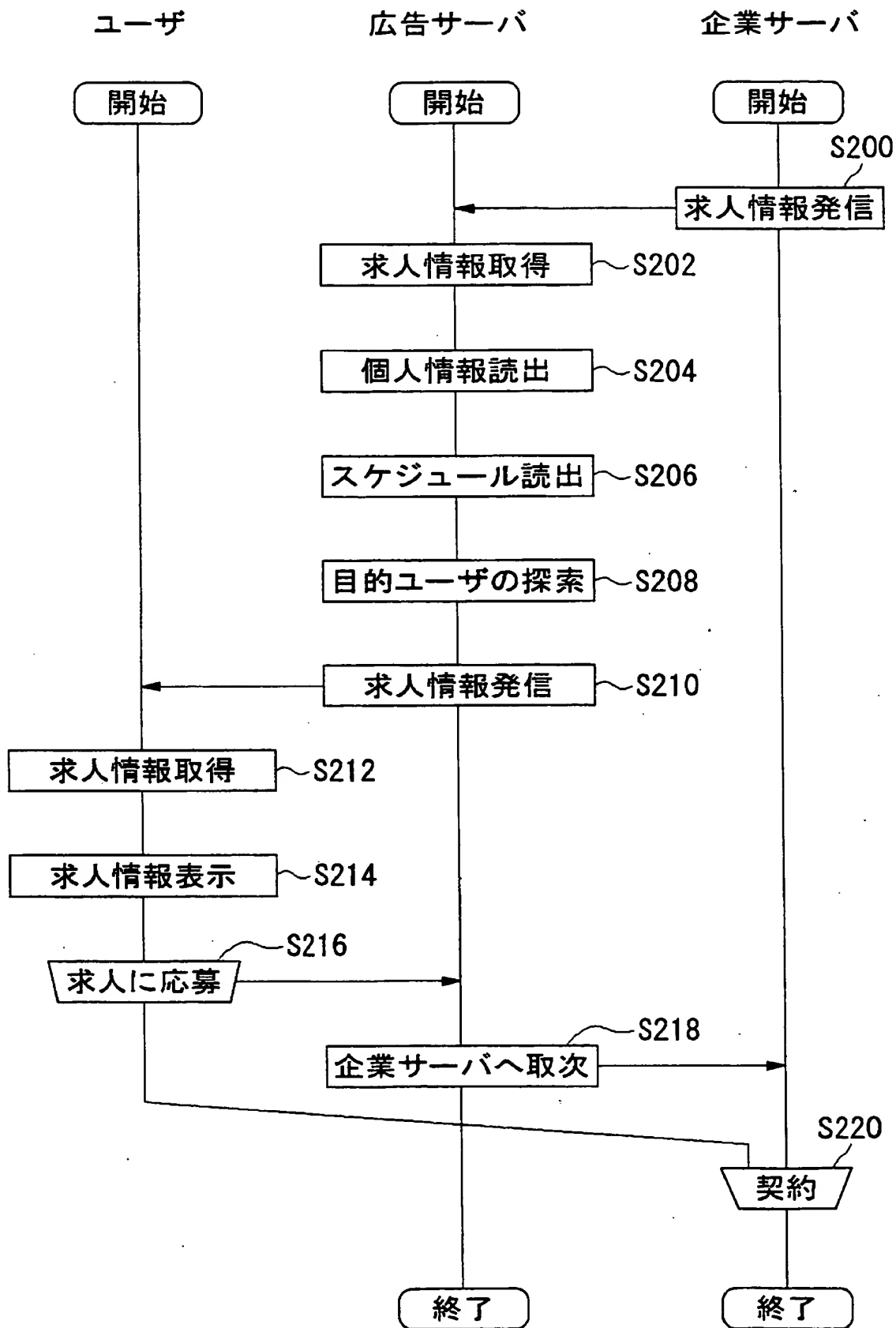
THIS PAGE BLANK (USPTO)

FIG. 29



THIS PAGE BLANK (USPTO)

FIG. 30



THIS PAGE BLANK (USPTO)

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP00/06072

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl⁷ G06F17/60

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl⁷ G06F17/60, 19/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1926-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2001
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2001	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2001

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

JICST FILE(JOIS), INSPEC(DIALOG)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	EP, 766431, A2 (FUJITSU LIMITED), 02 April, 1997 (02.04.97) & JP, 9-91358, A	1-89
Y	JP, 3063263, U (Kabushiki Kaisha Garireo Zesuto), 11 August, 1999 (11.08.99) (Family: none)	1-89
Y	JP, 8-263410, A (Fujitsu Limited), 11 October, 1996 (11.10.96), Par. No. [0017] (Family: none)	1-89
Y	JP, 9-114893, A (Taimu K.K.), 02 May, 1997 (02.05.97) (Family: none)	7-12, 14-18, 21-22, 24, 27-29, 31, 35, 36, 39, 40, 45-51, 55, 56, 59, 60, 62, 63, 65-67, 69, 71
A	Nikkei PC Vol.3, No.7, Nikkei BP K.K., 01 June, 1998 (01.06.98) pp.176-179	7-12, 14-18, 21-22, 24, 27-29, 31, 35,



Further documents are listed in the continuation of Box C.



See patent family annex.

* Special categories of cited documents:	"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance	"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
"E" earlier document but published on or after the international filing date	"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)	"&" document member of the same patent family
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means	
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed	

Date of the actual completion of the international search
23 January, 2001 (23.01.01)Date of mailing of the international search report
13 February, 2001 (13.02.01)Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP, 11-66161, A (Recruit K.K.), 09 March, 1999 (09.03.99) (Family: none)	36, 39, 40, 45-51, 55, 56, 59, 60, 62, 63, 65-67, 69, 71 7-12, 14-18, 21-22, 24, 27-29, 31, 35, 36, 39, 40, 45-51, 55, 56, 59, 60, 62, 63, 65-67, 69, 71

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁷ G06F17/60

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁷ G06F17/60, 19/00

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1926-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2001年
日本国実用新案登録公報	1996-2001年
日本国登録実用新案公報	1994-2001年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

JICSTファイル (JOIS), INSPEC (DIALOG)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	EP, 766431, A2 (FUJITSU LIMITED), 2. 4月. 1997 (02. 04. 97) & JP, 9-91358, A	1-89
Y	JP, 3063263, U (株式会社ガリレオゼスト), 11. 8月. 1999 (11. 08. 99) (ファミリーなし)	1-89
Y	JP, 8-263410, A (富士通株式会社), 11. 10月. 1996 (11. 10. 96), 第0017欄 (ファミリーなし)	1-89

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの

「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの

「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)

「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献

「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

23. 01. 01

国際調査報告の発送日

13.02.01

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

吉田 耕一



5L

9194

電話番号 03-3581-1101 内線 3560

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	J P, 9-114893, A (株式会社タイム), 2. 5月. 1997 (02. 05. 97) (ファミリーなし)	7-12, 14-18, 21-22, 24, 27- 29, 31, 35, 36, 39, 40, 45-51, 55, 56, 59, 60, 62, 63, 65-67, 69, 71
A	日経PC Vol.3, No.7, 日経BP社, 1. 6月. 1998 (01. 06. 98) pp.176-179	7-12, 14-18, 21-22, 24, 27- 29, 31, 35, 36, 39, 40, 45-51, 55, 56, 59, 60, 62, 63, 65-67, 69, 71
A	J P, 11-66161, A (株式会社リクルート), 9. 3月. 1999 (09. 03. 99) (ファミリーなし)	7-12, 14-18, 21-22, 24, 27- 29, 31, 35, 36, 39, 40, 45-51, 55, 56, 59, 60, 62, 63, 65-67, 69, 71